

平成 23 年度ヒヤリ・ハット調査 「年末年始の生活等に潜む危険」 報告書



東京都生活文化局
消費生活部生活安全課

目 次

I 調査概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の概要	1
II 調査結果	2
1 掃除中のヒヤリ・ハット及び危害経験について	2
(1) 掃除中のヒヤリ・ハット/危害経験の有無	2
(2) 大掃除・普段の掃除のどちらで起きたか	2
(3) 屋内・屋外のどちらで起きたか	3
(4) 掃除中にヒヤリ・ハット/危害経験をした場所	3
(5) 掃除中のヒヤリ・ハット/危害経験の程度	4
(6) 掃除中のヒヤリ・ハット/危害経験の内容	5
(7) 掃除中のヒヤリ・ハット/危害経験の原因	6
(8) 掃除中のヒヤリ・ハット/危害経験時の状況	12
(9) コンセント回りでのヒヤリ・ハット/危害経験の有無	18
(10) コンセント回りでのヒヤリ・ハット/危害経験の程度	18
(11) コンセント回りの掃除の頻度	19
(12) コンセントキャップの使用状況	19
(13) コンセント回りの可燃物に対する注意意識	20
(14) エアゾール缶、ガスコンロ用燃料ボンベの使用経験の有無	21
(15) エアゾール缶の正しい廃棄方法の認知状況	21
(16) エアゾール缶の廃棄方法	22
2 暖房器具・製品によるヒヤリ・ハット及び危害経験について	23
(1) 暖房器具・製品の使用経験	23
(2) 暖房器具・製品によるヒヤリ・ハット/危害経験の有無	24
(3) ヒヤリ・ハット/危害経験がある暖房器具・製品	25
(4) 暖房器具・製品によるヒヤリ・ハット/危害経験の程度	26
(5) 暖房器具・製品によるヒヤリ・ハット/危害経験の内容	27
(6) 暖房器具・製品によるヒヤリ・ハット/危害経験時の状況	28
3 食品による窒息のヒヤリ・ハット及び危害経験について	33
(1) 食品による窒息のヒヤリ・ハット/危害経験の有無	33
(2) 食品による窒息のヒヤリ・ハット/危害経験がある食品	33
(3) 食品による窒息のヒヤリ・ハット/危害経験の程度	34
(4) 食品による窒息のヒヤリ・ハット/危害経験者の性別	35

(5) 食品による窒息のヒヤリ・ハット / 危害経験者の年齢	36
(6) 食品による窒息のヒヤリ・ハット / 危害経験時の状況	37
(7) 普段、のどに詰まりそうで危険だと感じる食品の有無	40
(8) 食品による窒息事故に対する注意意識	41
4 クリスマスに多いヒヤリ・ハット及び危害経験について	42
(1) クリスマス関連の製品によるヒヤリ・ハット / 危害経験の有無	42
(2) ヒヤリ・ハット / 危害経験があるクリスマス関連の製品	42
(3) クリスマス関連の製品によるヒヤリ・ハット / 危害経験の程度	43
(4) クリスマス関連の製品によるヒヤリ・ハット / 危害経験時の状況	44

I 調査概要

1 調査の目的

危害及びヒヤリ・ハットの経験をして、消費生活センターなどへ相談する人はごくわずか、商品やサービスに起因する事故情報は埋没してしまっている。

しかし、これらの情報の中には重大な事故につながるものもあり、事前に対策を講じていれば、事故は防ぐことができたかもしれない。東京都では、このような危害及びヒヤリ・ハット体験をインターネットアンケートにより積極的に収集し、事故防止対策を実施している。

本調査は、冬場を含めた年末年始の生活等における事故の防止対策を図るための資料とするために、年末年始の生活等における危害及びヒヤリ・ハット事例を把握すること及び消費者の要望・意見等を収集することを目的として実施した。

2 調査の概要

(1) 調査期間

平成24年2月24日(金)から同年2月28日(火)まで

(2) 調査対象

都内に在住する20歳以上の男女(3,000人)

(3) 調査方法

インターネットアンケート形式

(4) 回答者の属性

年齢5階級(20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代以上)及び男女別にほぼ均等となることを目標とした。回答者の分布は以下のとおり

【回答者の年代別・性別分布】

上段：人数、下段：構成比

	計		
		男性	女性
合計	3,000 100.0	1,500 50.0	1,500 50.0
20歳代	600 100.0	300 50.0	300 50.0
30歳代	600 100.0	300 50.0	300 50.0
40歳代	600 100.0	300 50.0	300 50.0
50歳代	600 100.0	300 50.0	300 50.0
60歳代以上	600 100.0	300 50.0	300 50.0

Ⅱ 調査結果

1 掃除中のヒヤリ・ハット及び危害経験について

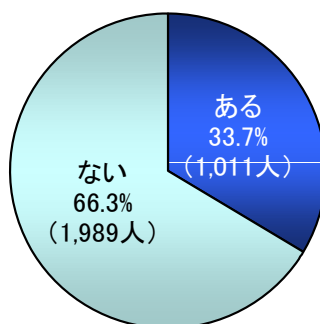
(1) 掃除中のヒヤリ・ハット／危害経験の有無

回答者：全員

家庭での大掃除又は普段の掃除中に、ケガをしそうになってヒヤリとしたり、ケガをした経験が「ある」と回答した人は33.7%で、3人に1人が何らかの経験をもっていた。

掃除中のヒヤリ・ハット／危害経験の有無(単一回答)〈全体〉

(n=3,000)



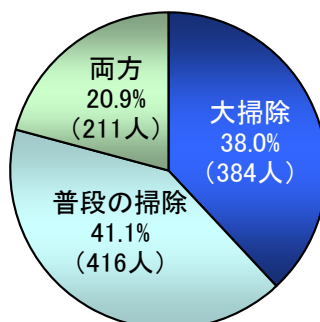
(2) 大掃除・普段の掃除のどちらで起きたか

(回答者：掃除中のヒヤリ・ハット／危害経験が「ある」と回答した1,011人)

ヒヤリ・ハットや危害の経験をした時は、「大掃除」が38.0%、「普段の掃除」が41.1%とほぼ同程度であり、その「両方」で経験がある人は20.9%であった。

大掃除・普段の掃除のどちらで起きたか(単一回答)〈全体〉

(n=1,011)



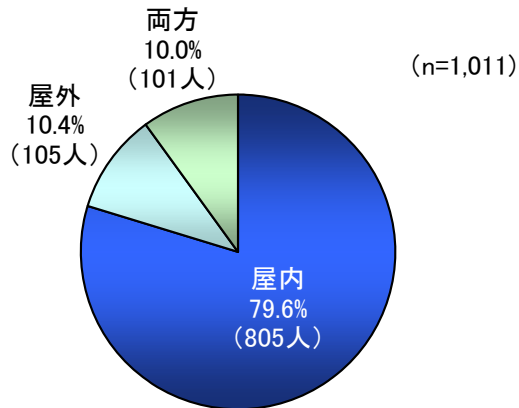
(3) 屋内・屋外のどちらで起きたか

(回答者：掃除中のヒヤリ・ハット/危害経験が「ある」と回答した1,011人)

掃除中のヒヤリ・ハットや危害が発生した場所は、「屋内」が79.6%、「屋外」は10.4%と、屋内で経験した人が約8割であった。

また、全体の1割は屋内・屋外の「両方」で経験している。

屋内・屋外のどちらで起きたか(単一回答)<全体>

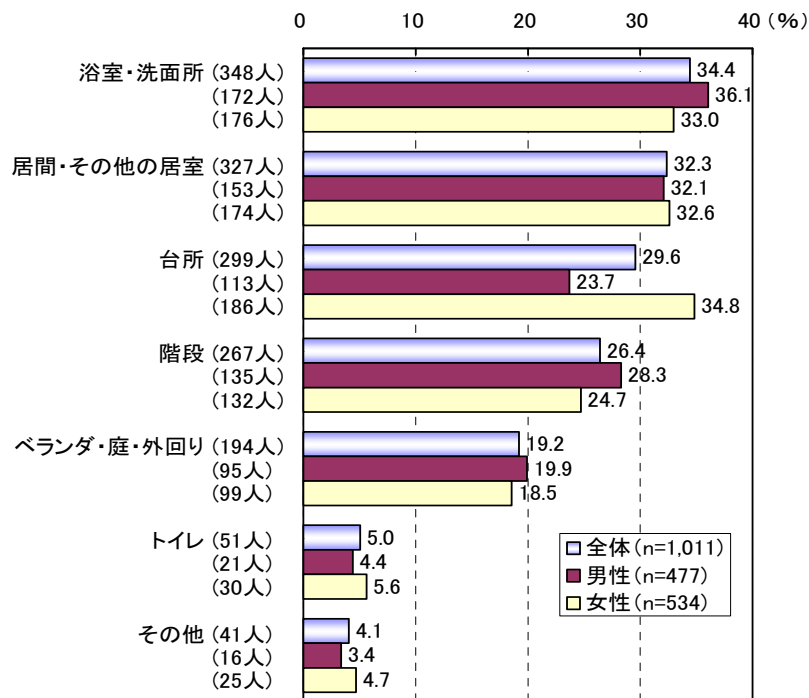


(4) 掃除中にヒヤリ・ハット/危害経験をした場所

(回答者：掃除中のヒヤリ・ハット/危害経験が「ある」と回答した1,011人)

掃除中のヒヤリ・ハットや危害を経験した具体的な場所を聞いたところ、全体では「浴室・洗面所」が最も多く34.4%、次いで「居間・その他の居室」が32.3%、「台所」が29.6%と続く。性別で見ると、「台所」は女性では34.8%、男性では23.7%で、女性が男性を上回っている。

掃除中にヒヤリ・ハット/危害経験をした場所(複数回答)<全体、性別>



(5) 掃除中のヒヤリ・ハット／危害経験の程度

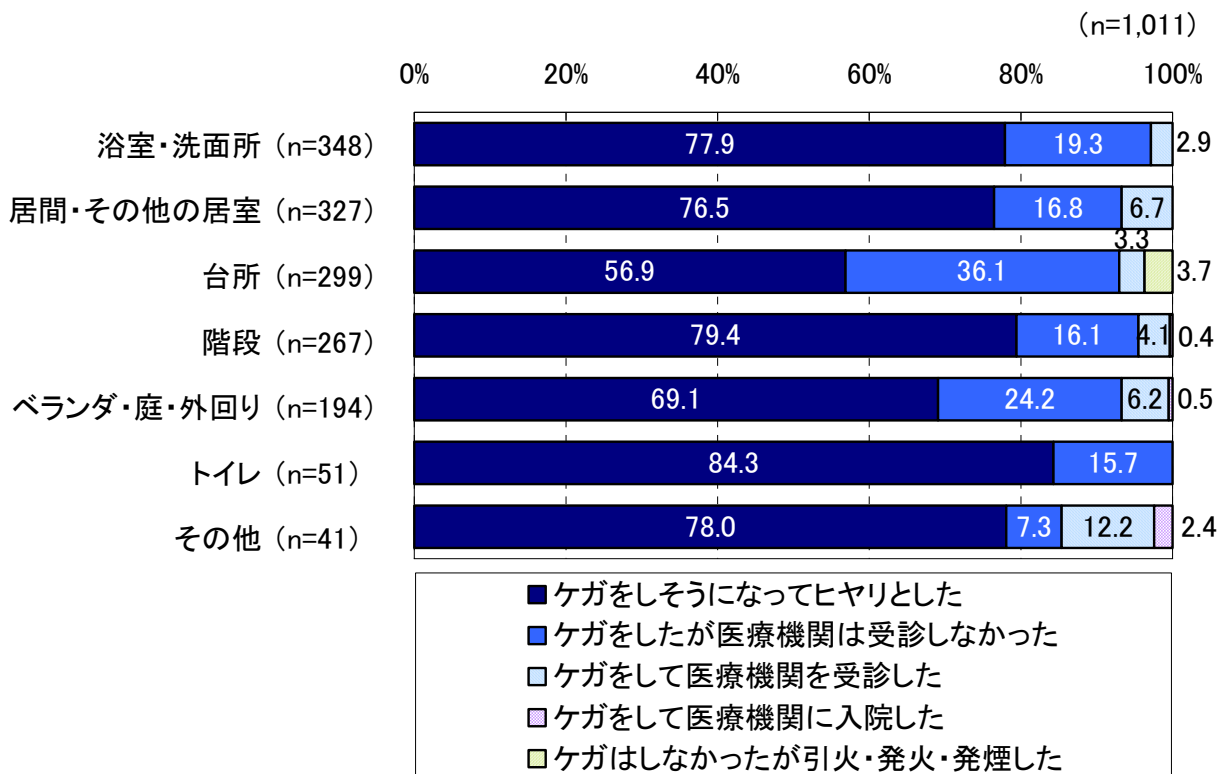
(回答者：掃除中のヒヤリ・ハット／危害経験が「ある」と回答した1,011人)

掃除中のヒヤリ・ハットや危害の程度を場所ごとに聞いた結果、危害経験の割合^(注)は、『台所』が43.1%で最も高く、次が『ベランダ・庭・外回り』で30.9%である。

ケガをして医療機関を受診又は入院した割合は、『その他』(14.6%)を除くと『居間・その他の居室』、『ベランダ・庭・外回り』が各6.7%で、他の場所と比べてやや高い。

注：「ケガをしたが医療機関を受診しなかった」「ケガをして医療機関を受診した」「ケガをして医療機関に入院した」「ケガはしなかったが引火・発火・発煙した」の合計

掃除中のヒヤリ・ハット／危害経験の程度(単一回答)＜全体＞



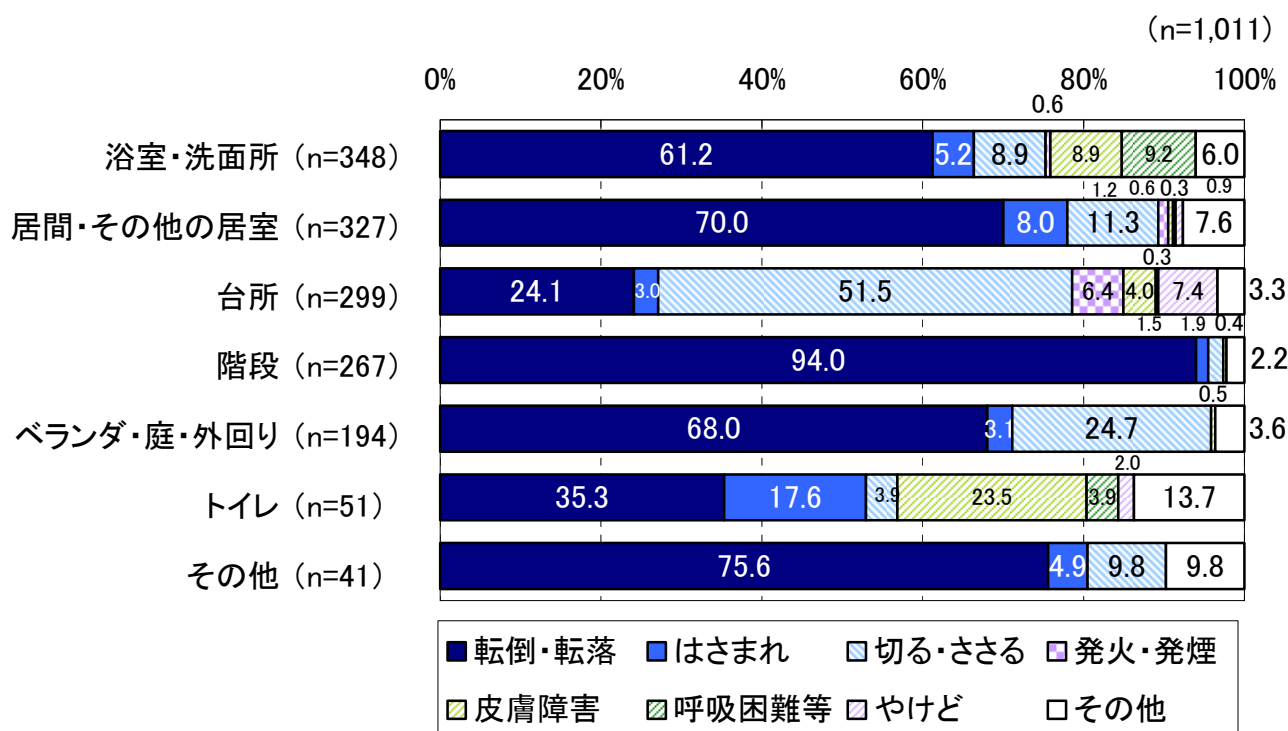
(6) 掃除中のヒヤリ・ハット／危害経験の内容

回答者：掃除中のヒヤリ・ハット／危害経験が「ある」と回答した1,011人

掃除中のヒヤリ・ハットや危害の内容を場所ごとに聞いた結果、『その他』以外の場所でみると、「転倒・転落」の割合は『階段』が最も高く94.0%、次いで『居間・その他の居室』が70.0%、『ベランダ・庭・外回り』が68.0%となっている。「切る・ささる」については、『台所』では51.5%と半数を占め、次いで『ベランダ・庭・外回り』の24.7%が高い。

また、「皮膚障害」については『トイレ』での発生割合が23.5%と高い。

掃除中のヒヤリ・ハット／危害経験の内容(単一回答)<全体>



(7) 掃除中のヒヤリ・ハット／危害経験の原因

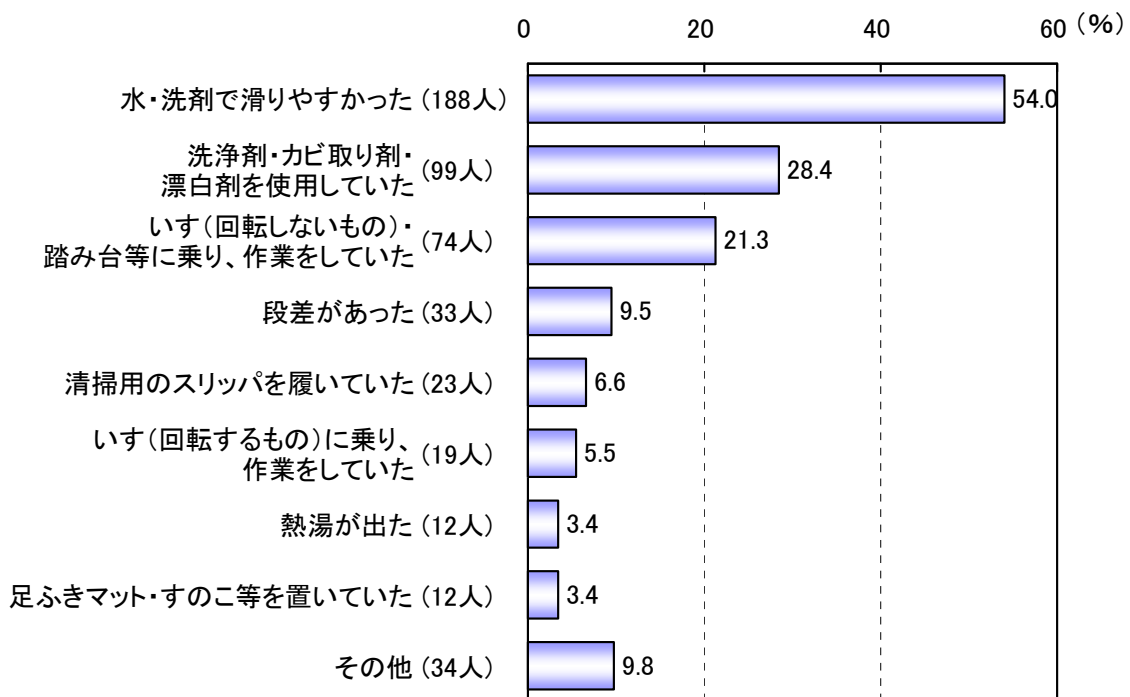
(回答者：それぞれの場所で掃除中にヒヤリ・ハット／危害経験があると回答した人)

【浴室・洗面所】

浴室・洗面所で掃除中に起きたヒヤリ・ハットや危害経験の原因は、「水・洗剤で滑りやすかった」が54.0%で最も多く、次いで「洗剤・カビ取り剤・漂白剤を使用していた」が28.4%、「いす（回転しないもの）・踏み台等に乗る、作業をしていた」が21.3%で続く。

浴室・洗面所で掃除中に起きたヒヤリ・ハット／危害経験の原因(複数回答)<全体>

(n=348)



「その他の原因」の回答(浴室・洗面所 上位抜粋)

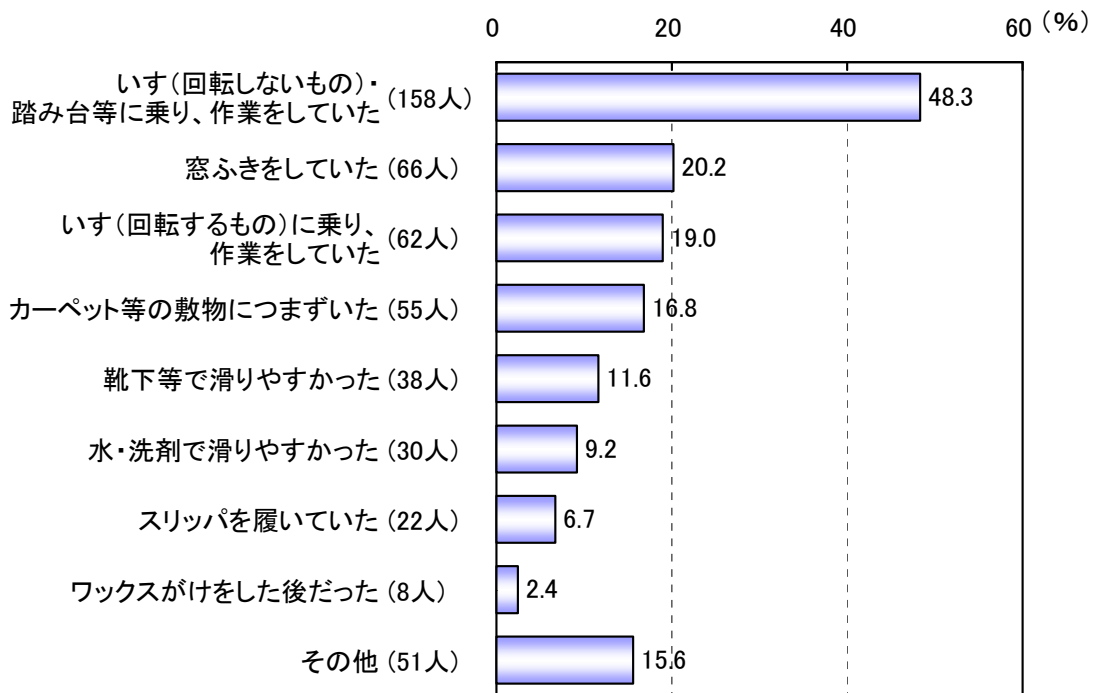
Q10.「その他」の回答	件数
換気扇の掃除中	3
排水溝の掃除中	3
浴室のドア	2
浴槽の縁に立っていた	2
カビ取り剤使用中	2
風呂おけの縁に乗って掃除中	2

【居間・その他の居室】

居間・その他の居室で掃除中に起きたヒヤリ・ハットや危害経験の原因で、最も回答が多かったのは「いす（回転しないもの）・踏み台等に乗し、作業をしていた」で、48.3%と5割近い人があげている。次いで、「窓ふきをしていた」(20.2%)、「いす（回転するもの）にし、作業をしていた」(19.0%)が同程度で続いている。

居間・その他の居室で掃除中に起きたヒヤリ・ハット／危害経験の原因（複数回答）＜全体＞

(n=327)



「その他の原因」の回答（居間・その他の居室 上位抜粋）

Q8.「その他」の回答	件数
家具の掃除	4
家具に体をぶつける	4
物の落下	3
チラシ等で足が滑った	3
掃除機をかけていた	3
段ボールの整理中	2
ドア等、閉まっているのに気づけなかった	2
ガラス、紙等	2
家具等、重いものを移動の際	2
拭き掃除をしていた時	2
家具を倒した	2

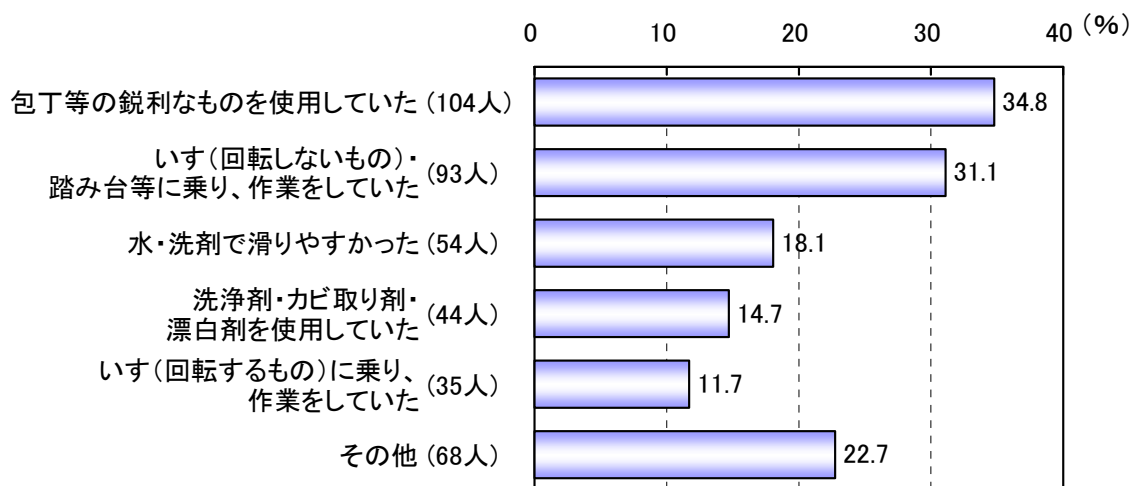
【台所】

台所で掃除中に起きたヒヤリ・ハットや危害経験の原因は、「包丁等の鋭利なものを使用していた」が34.8%で最も多く、「いす（回転しないもの）・踏み台等に乗る、作業をしていた」が31.1%で続いている。

「その他」の回答内容は、換気扇、食器等ガラスの破片、加熱した機器との接触などを原因としてあげた人が多かった。

台所で掃除中に起きたヒヤリ・ハット／危害経験の原因（複数回答）＜全体＞

(n=299)



「その他の原因」の回答（台所 上位抜粋）

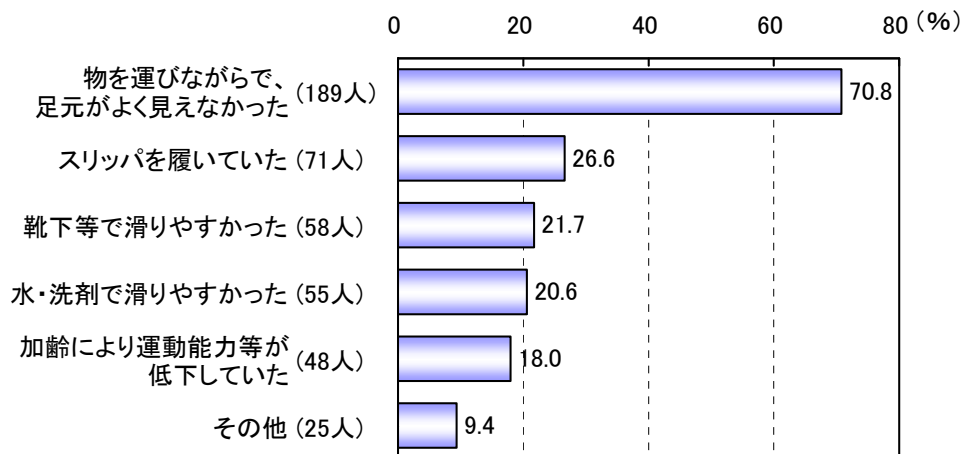
Q9.「その他」の回答	件数
換気扇	7
食器等、ガラスの破片	6
加熱した機器との接触	5
引火	3
ガス台の部品を清掃中	3
ガス台	2
手が滑った	2
スチールたわしで清掃中、傷ができた	2

【階段】

階段で掃除中に起きたヒヤリ・ハットや危害経験の原因は、「物を運びながらで、足元がよく見えなかった」と答えた人が70.8%で顕著に多かった。第2位以下は、「スリッパを履いていた」(26.6%)、「靴下等で滑りやすかった」(21.7%)、「水・洗剤で滑りやすかった」(20.6%)と続いている。

階段で掃除中に起きたヒヤリ・ハット／危害経験の原因(複数回答)＜全体＞

(n=267)



「その他の原因」の回答(階段 上位抜粋)

Q7.「その他」の回答	件数
階段の段数を間違えた	3
安定が悪かった	3
バランスをくずした	2
急いでいた	2

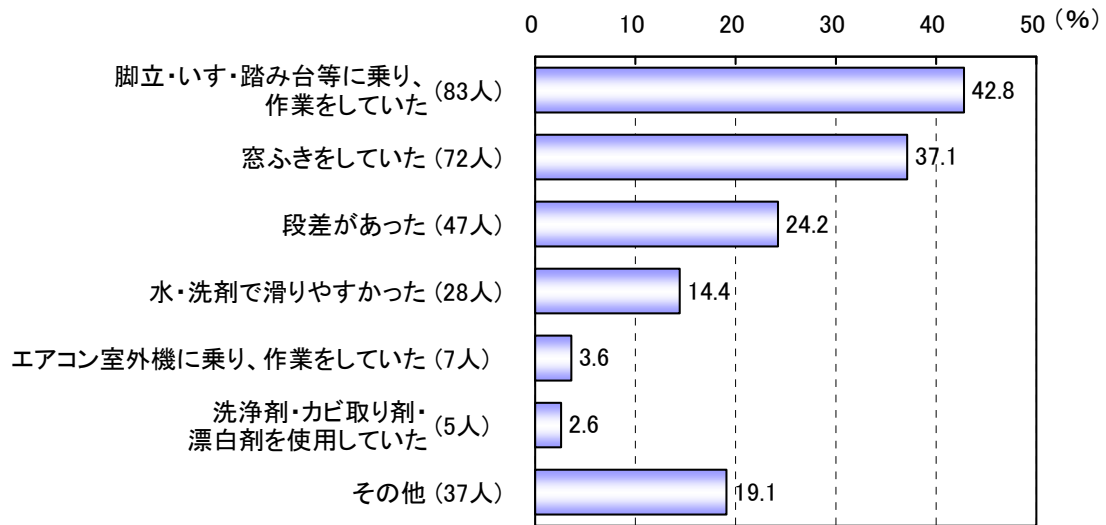
【ベランダ・庭・外回り】

ベランダ・庭・外回りで掃除中に起きたヒヤリ・ハットや危害経験の原因は、「脚立・いす・踏み台等に乗し、作業をしていた」が 42.8%で最も多かった。次いで、「窓ふきをしていた」(37.1%)、「段差があった」(24.2%)と続いている。

「その他」の回答では、木の枝、ガラス等の破片などが原因としてあげられた。

ベランダ・庭・外回りで掃除中に起きたヒヤリ・ハット／危害経験の原因(複数回答)＜全体＞

(n=194)



「その他の原因」の回答(ベランダ・庭・外回り 上位抜粋)

Q12.「その他」の回答	件数
木の枝	3
ガラス等の破片	3
手すりを掃除中	2
壊れた柵	2
すのこ	2

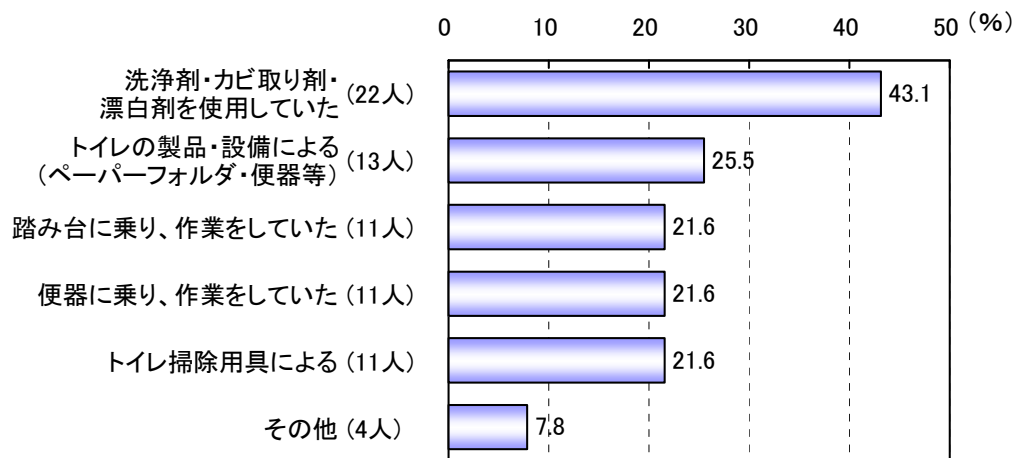
【トイレ】

トイレで掃除中に起きたヒヤリ・ハットや危害経験の原因は、「洗剤・カビ取り剤・漂白剤を使用していた」が43.1%で最も多く、「トイレの製品・設備による（ペーパーホルダ・便器等）」が25.5%で続いている。

「洗剤・カビ取り剤・漂白剤を使用していた」の回答が最も多かったことから、トイレの掃除で皮膚障害の割合が高い（前項「掃除中のヒヤリ・ハット／危害経験の内容」による）原因は、狭い空間で洗剤や漂白剤等を使用し、皮膚や目に付着しやすかったためと考えられる。

トイレで掃除中に起きたヒヤリ・ハット／危害経験の原因（複数回答）＜全体＞

(n=51)



「その他の原因」の回答（トイレ）

Q11.「その他」の回答	件数
(合計)	4
扉	1
ドアに指をはさんだ	1
便器を掃除していた	1
自分が勢い良くブラシをかけすぎた	1

(8) 掃除中のヒヤリ・ハット／危害経験時の状況

回答者：掃除中のヒヤリ・ハット／危害経験が「ある」と回答した1,011人

掃除中にヒヤリ・ハットや危害を経験した場所のうち1つについて、その時の状況を自由記述式で聞いたところ、合計1,006件（ヒヤリ・ハット事例729件／危害事例277件）の有効回答を得た。以下は、それらの内容を場所ごとに分類・集計した結果である。

【浴室・洗面所、トイレ】

浴室・洗面所は、合計241件（ヒヤリ・ハット事例185件／危害事例56件）の回答があった。その多くは浴室での転倒・転落に関する内容である。

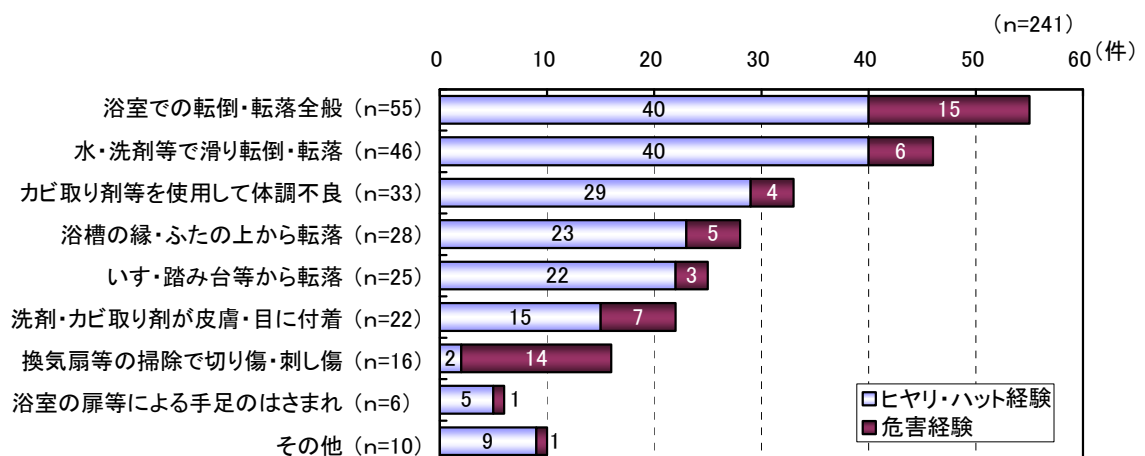
浴槽、洗い場等「浴室での転倒・転落全般」に関する事例が55件あり、具体的な事例は『浴槽の外から浴槽を洗おうとして足が滑り、浴槽にのめり込みそうになった』というものがある。

また、転倒・転落の原因に触れている回答の中では「水・洗剤等で滑り転倒・転落」が46件、「浴槽の縁・ふたの上から転落」が28件などとなっている。

転倒・転落以外では、「カビ取り剤等を使用して体調不良」の事例が33件と多く、『念入りに時間をかけて浴室掃除をしていたら、頭痛がしてきてあわてて掃除を中断した』などの回答があった。

また、トイレで掃除中の事例としては、『水垢を落とすために洗剤を多めに使用し、ブラシでこすっていたら跳ね上がり眼に入った』などの事例がある。

浴室・洗面所で掃除中のヒヤリ・ハット／危害経験時の状況（自由回答を分類）



注：件数は当該事象が「起きそうになった」「起きるおそれを感じた」等の事例を含む。

【浴室・洗面所】

項目	内容	性別・年齢
水・洗剤等で滑り転倒・転落	浴室のタイル面を裸足でデッキブラシを使って掃除していた時に、滑ってしまって壁面に肩をぶつけてしまって肩を痛めた。	男性 60代
	洗剤を浴槽、床にスプレーし、15分待って、浴室に足を踏み入れた瞬間、滑って転倒。足首、腰、腕に打撲を負った。	女性 60代以上
カビ取り剤等を使用して体調不良	昨年末の大掃除のときに、念入りに浴室掃除をしていたが、普段使う洗剤を使用したあとに、カビとり剤で細かいところまで除菌をしていたら、時間が長すぎたのか、頭がずきずきして、あわてて掃除を中断して、浴室外に出た。	女性 30代
	普段の掃除のとき、使い切ったカビとり剤の容器（付け替えで新しいのをセット）を捨てようとして、洗ったりせずそのままゴミ袋に入れたところ、偶然先にゴミになっていた漂白剤と混ざり異臭が発生。異臭には割とすぐ気づいたが、原因がわからず、しばらくそのままになっており、かなり気分が悪くなった。	女性 30代
浴槽の縁・ふたの上から転落	浴槽のふちに足をかけて天井を洗っていたとき、足が滑って中に落ちて転んだ。	女性 60代
洗剤・カビ取り剤が皮膚・目に付着	いけないと思いつつ、浴室の天井にカビ取りスプレーをかけてしまい、ポタポタ垂れてきて、慌てて逃げた。着ていた服に付いて、何か所も色落ちしてその服は着られなくなった。目や皮膚にかからなくて良かった。	女性 40代
浴室の扉等による手足のはさまれ	風呂場の段差とドアに足をはさんだ。	男性 50代
その他	洗面所をぬれぞうきんで拭いていた時、コンセント部分も拭いてしまい、感電して腕がブルブルと鳴った。	女性 40代

【主な事例(トイレ)】

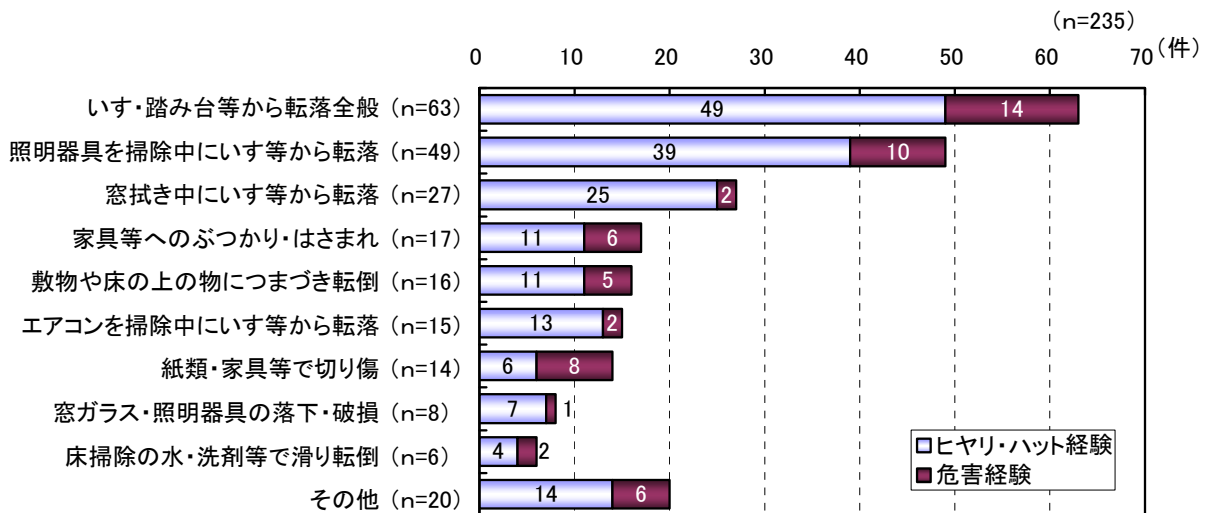
項目	内容	性別・年齢
トイレ	水垢を落とすために洗剤を多めに使用したとき、ブラシでこすっていたらはねがあがり、たまたま眼に入った。すぐに眼を洗い、目薬を差したが、しばらくしみていた。	女性 50代

【居間・その他の居室】

居間・その他の居室は、合計 235 件（ヒヤリ・ハット事例 179 件 / 危害事例 56 件）の回答があった。その多くは、いす・踏み台等からの転落に関する事例であり、これらは踏み台よりもいすを使用していたケースが多かった。

いす・踏み台等から転落に関する事例のうち、具体的な掃除対象に触れている回答の中では、「照明器具を掃除中にいす等から転落」が最も多く 49 件であった。この項目には電球の交換も含まれている。次いで「窓拭き中にいす等から転落」の事例が 27 件となっている。

居間・その他の居室で掃除中のヒヤリ・ハット／危害経験時の状況（自由回答を分類）



注：件数は当該事象が「起きそうになった」「起きるおそれを感じた」等の事例を含む。

【主な事例】

項目	内容	性別・年齢
いす・踏み台等から転落全般	椅子に乗って蛍光灯を掃除している最中、バランスを崩して椅子から後向きに転倒して頭を打つ	男性 60代
窓拭き中にいす等から転落	集合住宅 3 階に居住、居間のガラスを拭くため、身を乗り出し過ぎ転落しそうになった。	男性 60代
敷物や床の上の物につまづき転倒	居間の整理をしている時に、捨てる書類を床に置いていた。その際、紙を踏んでしまい滑って、転びそうになった。	男性 40代
紙類・家具等で切り傷	たまっていた段ボールを捨てようとまとめていたところ、重さで手から滑り、複数の指が切れた。	男性 20代
窓ガラス・照明器具の落下・破損	大掃除の時に、居間の出窓のガラス戸を外して掃除していたところ、手が滑って、ガラス戸を落下させてしまった。	男性 50代
その他	昨年の大掃除のときにソファを移動しようとして持ち上げたらぎっくり腰になった。	男性 40代

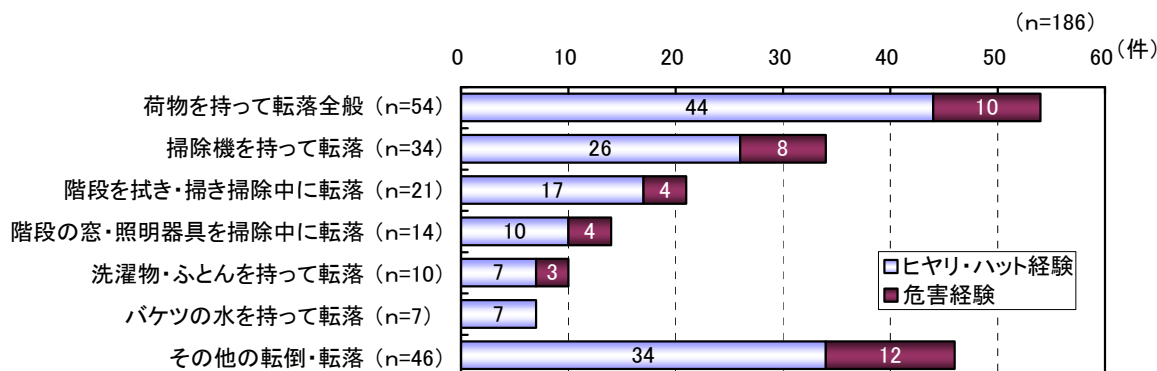
【階段】

階段は、合計 186 件（ヒヤリ・ハット事例 145 件 / 危害事例 41 件）の回答があった。そのほとんどが階段からの転落に関する内容であり、降りる時の事例が多い。

物を運んでいて足元が見えずに転落した（しそうになった）事例のうち、具体的に持っていた物を明記している回答の中では、「掃除機を持って転落」が 34 件と最も事例が多く、他には「洗濯物・ふとんを持って転落」が 10 件、「バケツの水を持って転落」が 7 件あった。これらの事例では『スリッパや靴下を履いていた』という人も複数みられる。

また、物を運ぶ時以外では「階段を拭き・掃き掃除中に転落」が 21 件と多かった。

階段で掃除中のヒヤリ・ハット／危害経験時の状況（自由回答を分類）



注:件数は当該事象が「起きそうになった」「起きるおそれを感じた」等の事例を含む。

階段で掃除中のヒヤリ・ハット／危害経験 主な事例

項目	内容	性別・年齢
掃除機を持って転落	掃除機を持ったまま階段を掃除中、もう階段が終わりだと思ったら、後二段あり、そのまま落ちた。	女性 50代
階段を拭き・掃き掃除中に転落	普段の掃除で、玄関の階段を後ろ向きで掃除中に階段を踏み外し、後ろ向きに転倒。頭を打ったのと、足首をひねった。	女性 50代
階段の窓・照明器具を掃除中に転落	階段に付いている電球交換で、手すりに足を掛けて昇ったが、足を滑らせもう少しで落ちる所でした。	男性 50代
洗濯物・ふとんを持って転落	二階から干した布団を両手で抱えておりていたところ、階段の途中に子供のおもちゃがあって踏んづけて足をすべらした。布団を放り投げて壁に手をついたのでなんともなかったけど、かなりひやっとした。	女性 30代
バケツの水を持って転落	バケツを持って階段を上るとき、水をこぼし良く拭かなかった。降りる時、すべってバランスを崩し、手すりにつかまったが、腰を痛めた。	男性 60代以上

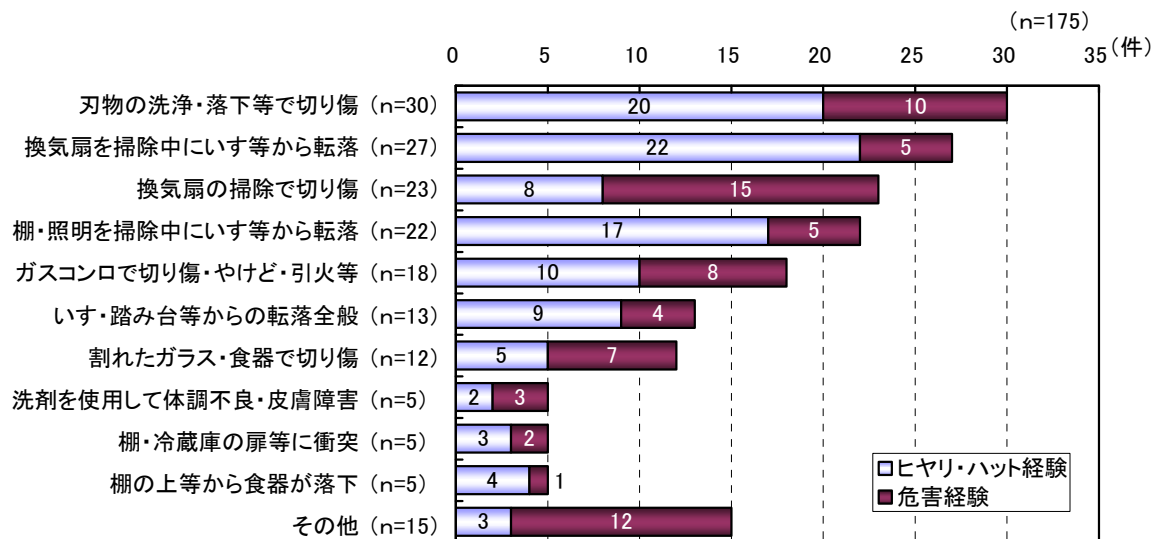
【台所】

台所は、合計 175 件（ヒヤリ・ハット事例 103 件 / 危害事例 72 件）の回答があった。ケガ・の原因は、転倒・転落、刺し傷、発火、皮膚障害など多岐にわたる。

最も多かったのは、「刃物の洗浄・落下等で切り傷」の 30 件で、その 3 分の 1 は、実際にケガをした危害事例である。

また、実際にケガをした事例は、「換気扇の掃除で切り傷」が多い。

台所で掃除中のヒヤリ・ハット／危害経験時の状況（自由回答を分類）



注：件数は当該事象が「起きそうになった」「起きるおそれを感じた」等の事例を含む。

台所で掃除中のヒヤリ・ハット／危害経験 主な事例

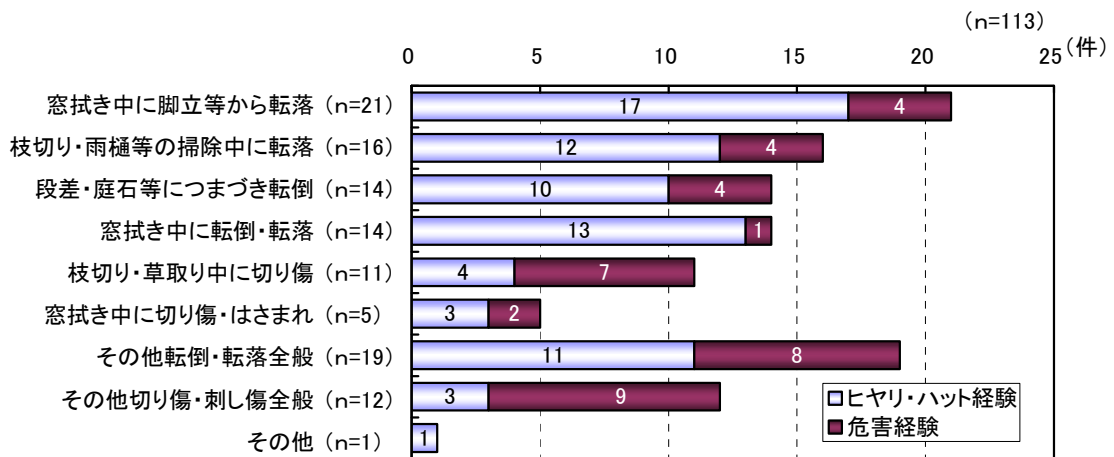
項目	内容	性別・年齢
刃物の洗浄・落下等で切り傷	大掃除の時、使っていなかった包丁を沢山出していて取る際、指を少し切った	女性 60代
換気扇を掃除中にいす等から転落	12月に冷蔵庫の上の清掃で、踏み台があまり高く無いため届かなかったので、食卓のいすの上に小さな踏み台をのせて、拭き掃除をしていたところバランスが崩れ、足の打撲で済みました。ほんとうにこんなんでも済んで良かったです。以後気をつけます。	女性 60代
換気扇の掃除で切り傷	昨年、換気扇の羽にこびりついた油を落とすのに手袋なしで作業していて、指があたり切ってしまった	女性 60代
ガスコンロで切り傷・やけど・引火等	おとしの大掃除の時、台所のシステムキッチンのガスレンジを分解清掃中にステンレスの淵で指を切った。	男性 60代
洗剤を使用して体調不良・皮膚障害	台所のレンジ下の戸棚の中を洗浄剤を使って掃除をしていた時に、頭を奥の方へ入れたまま拭いていたら、気分が悪くなった。	女性 60代以上
棚・冷蔵庫の扉等に衝突	冷蔵庫の中を掃除していたとき、開いている扉に立ち上がった拍子に頭をおもいっきりぶつけることがたまにあります。一番ひどい時は頭から少し血が出ました。	女性 30代

【ベランダ・庭・外回り、その他の場所】

ベランダ・庭・外回りは、合計 113 件（ヒヤリ・ハット事例 74 件 / 危害事例 39 件）の回答があった。

最も多かったのは「窓拭き中に脚立等から転落」で、21 件の事例があった。脚立を使用した窓拭き以外にも、『エアコンの室外機に足をかけて高い場所の掃除をしている時』など、転倒・転落の事例は多い。

ベランダ・庭・外回りで掃除中のヒヤリ・ハット／危害経験時の状況（自由回答を分類）



注：件数は当該事象が「起きそうになった」「起きるおそれを感じた」等の事例を含む。

ベランダ・庭・外回りで掃除中のヒヤリ・ハット／危害経験 主な事例

項目	内容	性別・年齢
窓拭き中に脚立等から転落	高さ120センチメートルぐらいの脚立に乗って窓ガラス（2.2m）を拭いているときに、洗剤とホースからの水で脚立の踏み板がぬれていたのに気づかず掃除に気をとられていたとき、脚立を二段踏み外し、ベランダに滑り落ちた。手に窓拭きの道具を持っていたので、体の保持ができなかった。	男性 50代
枝切り・草取り中に切り傷	外回りの植え込みのなかに割れガラスが捨てられていて、雑草を抜こうとした時わずかに手を切った。	女性 60代以上
その他転倒・転落全般	昨年の大掃除の際、エアコンの室外機に足をかけながら、高所の拭き掃除をしていたところ、水で湿り気があった為、バランスを崩し、危うく転倒しそうになり、手をつき、軽い手の打撲と膝の打撲をおった。	女性 40代
その他切り傷・刺し傷全般	交換した照明器具を分解中、プラスチック製のシェードを踏み割ろうとしていて、割れたプラスチック片で足首を切った。	男性 60代以上

その他の場所で掃除中のヒヤリ・ハット／危害経験 主な事例

項目	内容	性別・年齢
窓・網戸	二階の窓を掃除中に簡単に網戸がはずれてしまい、咄嗟に網戸を捕まえようとして指の爪が割れたけど、幸いにも下には誰もいなかったのがよかった。	男性 50代

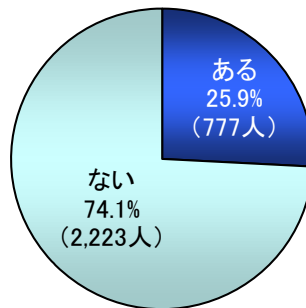
(9) コンセント回りでのヒヤリ・ハット / 危害経験の有無

回答者：全員

壁コンセント、テーブルタップなどコンセント回りで、火花が出るなどヒヤリとしたり、発火・発煙した経験があるかを聞いたところ、「ある」が25.9%で、全体の1/4の人が経験をしている。

コンセント回りでのヒヤリ・ハット / 危害経験の有無(単一回答) <全体>

(n=3,000)



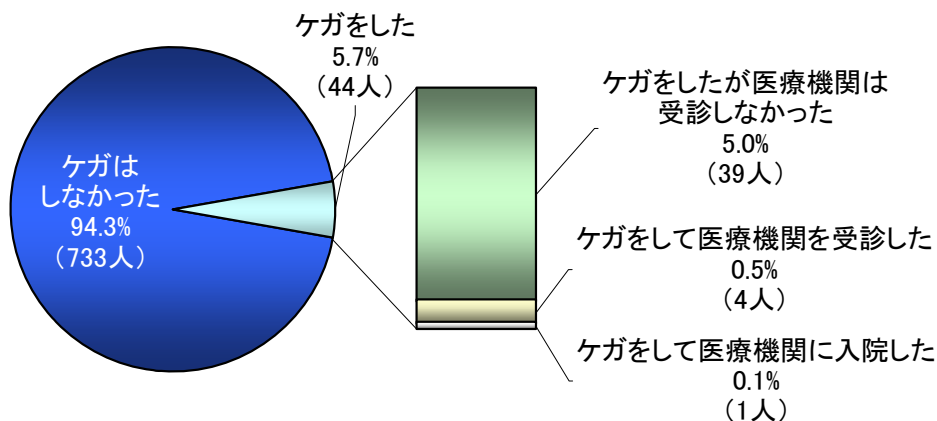
(10) コンセント回りでのヒヤリ・ハット / 危害経験の程度

回答者：コンセント回りでのヒヤリ・ハット / 危害経験が「ある」と回答した777人

コンセント回りで、火花や発火・発煙を経験した時のケガの有無と程度を聞いたところ、「ケガはしなかった」という回答が94.3%を占めた。ケガをした人は5.7%(44人)で、そのうち「ケガをしたが医療機関は受診しなかった」が39人、ケガをして医療機関を受診及び入院した人は合計5人であった。

コンセント回りでのヒヤリ・ハット / 危害経験の程度(単一回答) <全体>

(n=777)

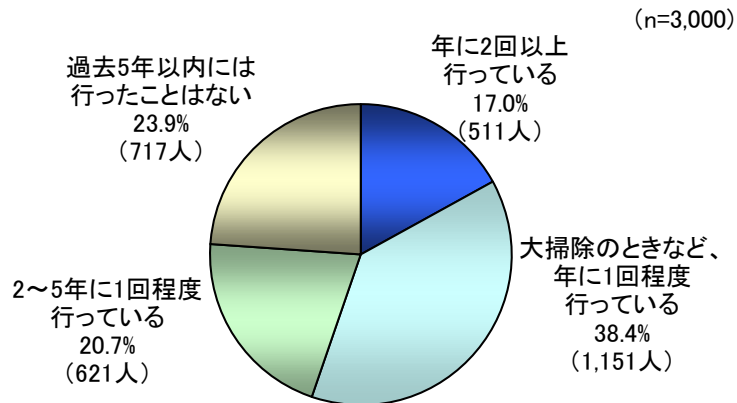


(11) コンセント回りの掃除の頻度

回答者：全員

家具や冷蔵庫など手の届きにくい場所のコンセント回りについて、掃除の頻度を聞いたところ、「大掃除のときなど、年に1回程度行っている」という回答が38.4%で最も高かった。次いで、「過去5年以内には行ったことはない」が23.9%と全体の約1/4を占めた。「2～5年に1回程度行っている」は20.7%、「年に2回以上行っている」は17.0%である。

コンセント回りの掃除の頻度(単一回答)<全体>

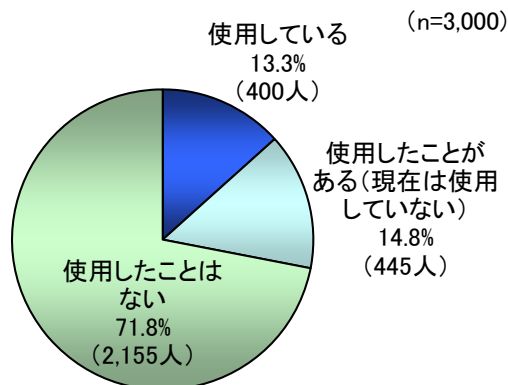


(12) コンセントキャップの使用状況

回答者：全員

コンセントキャップの使用状況を聞いたところ、「使用したことはない」という回答が71.8%で最も高い。「使用している」(13.3%)と「使用したことがある(現在は使用していない)」(14.8%)が同程度で、合わせると全体の3割弱の人は使用した経験を持っている。

コンセントキャップの使用状況(単一回答)<全体>



(13) コンセント回りの可燃物に対する注意意識

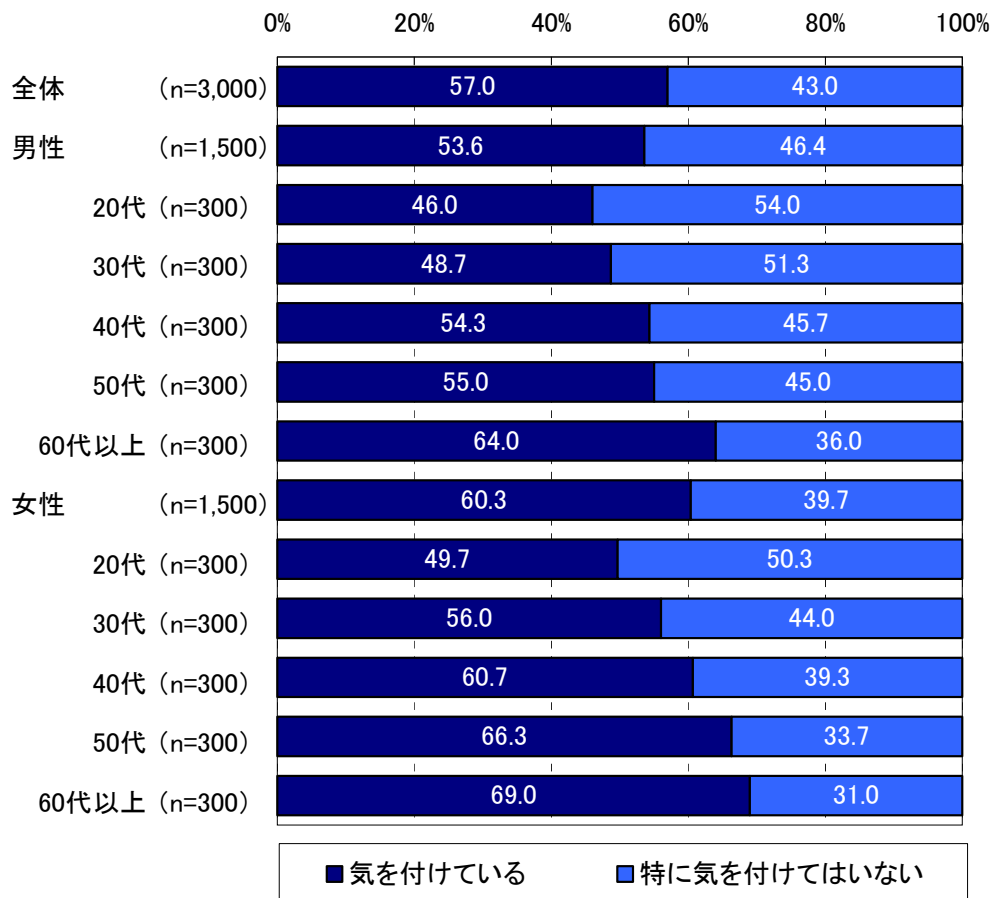
回答者：全員

コンセント回りに可燃物を置かないよう気を付けているかを聞いたところ、全体では、「気を付けている」が57.0%で、「特に気を付けてはいない」(43.0%)を上回っている。

性・年代別にみると、「気を付けている」割合は男性より女性の方が高い。

また、男女ともに年齢が高いほど「気を付けている」割合が高くなる傾向があり、女性の60代以上では、7割近くが「気を付けている」と回答している。

コンセント回りの可燃物に対する注意意識(単一回答)＜全体、性・年代別＞

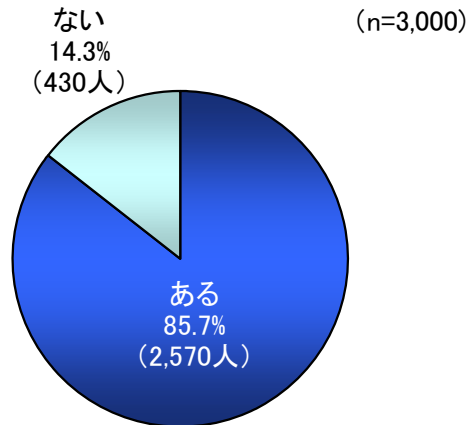


(14) エアゾール缶、ガスコンロ用燃料ボンベの使用経験の有無

回答者：全員

家庭でエアゾール缶（ヘアスプレー、殺虫剤等）やガスコンロ用燃料ボンベを使用したことがあるかを聞いたところ、「ある」と答えた人が85.7%を占めた。

エアゾール缶、ガスコンロ用燃料ボンベの使用経験の有無（単一回答）＜全体＞

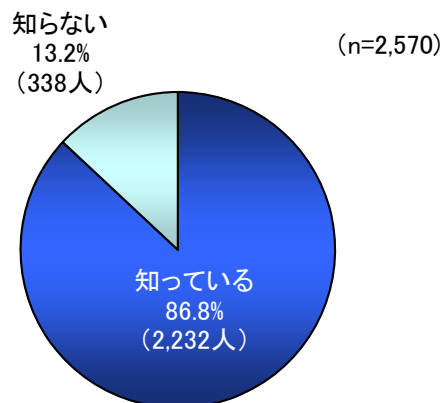


(15) エアゾール缶の正しい廃棄方法の認知状況

回答者：エアゾール缶、ガスコンロ用燃料ボンベの使用経験が「ある」と回答した2,570人

エアゾール缶を廃棄する場合は、必ず中身を使い切り、各区市町村の指定するごみの分別区分にしたがい捨てることを知っているかを聞いたところ、「知っている」という回答が86.8%であった。次項で述べた実際の廃棄方法によると、穴あけあり・なしの違いはあるが『中身を使い切ってから廃棄する』という点については、9割弱の人が実施しており、正しい廃棄方法の認知状況とほぼ一致している。

エアゾール缶の正しい廃棄方法の認知状況（単一回答）＜全体＞



(16) エアゾール缶の廃棄方法

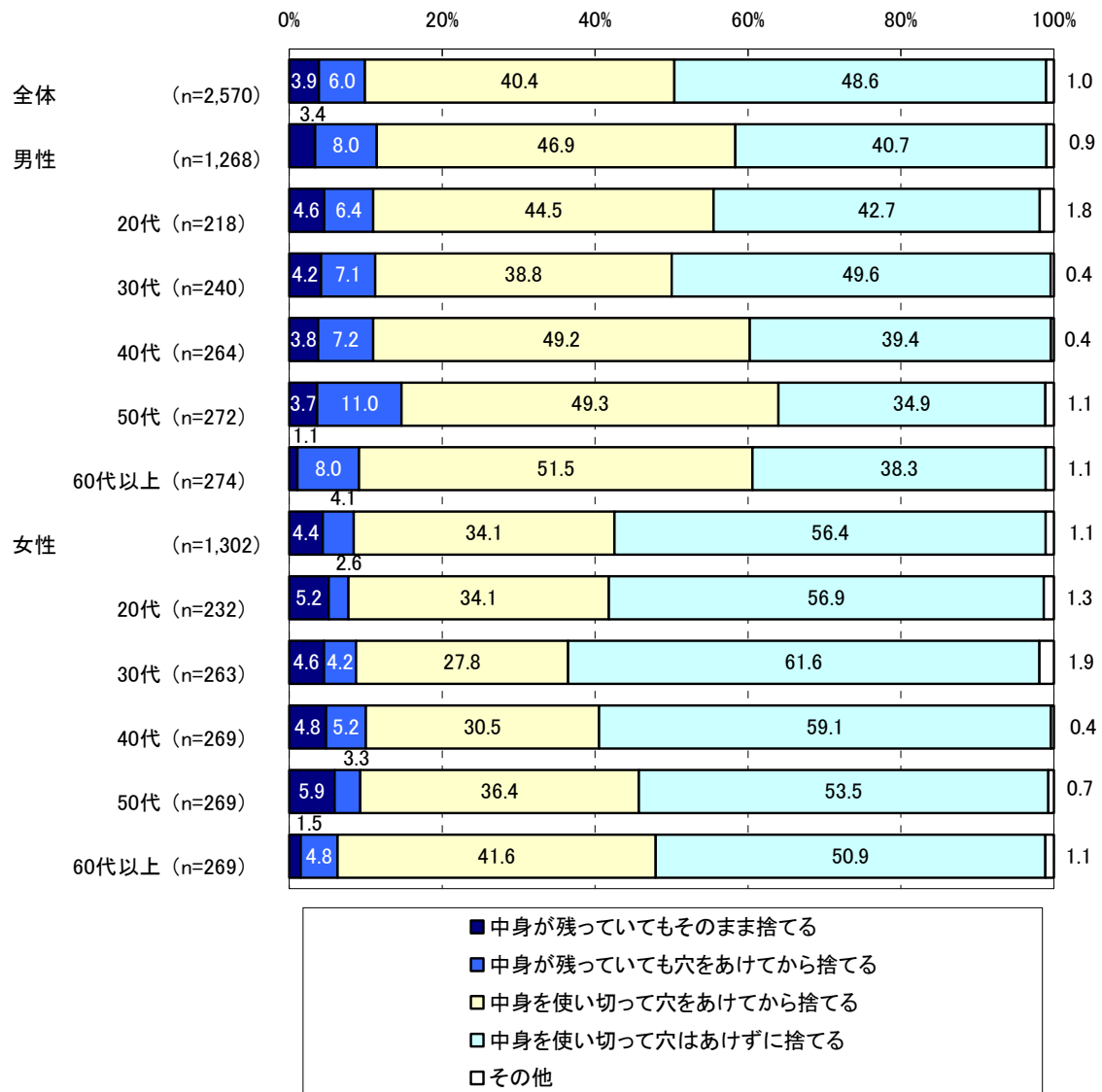
(回答者：エアゾール缶、ガスコンロ用燃料ポンベの使用経験が「ある」と回答した2,570人)

掃除などでエアゾール缶を廃棄するとき、どのような方法で廃棄しているかを聞いたところ、全体では、「中身を使い切って穴はあけずに捨てる」が48.6%で最も高かった。次いで、「中身を使い切って穴をあけてから捨てる」が40.4%で、合わせると9割弱の人は中身を使い切ってから廃棄している。

性・年代別にみると、「中身を使い切って穴をあけてから捨てる」割合は、男性の方が女性より12.8ポイント高い。

また、30代以上は年齢が高いほど「中身を使い切って穴をあけてから捨てる」割合が高くなる傾向がみられ、女性の方が男性より顕著である。

エアゾール缶、ガスコンロ用燃料ポンベの廃棄方法(単一回答)<全体、性・年代別>

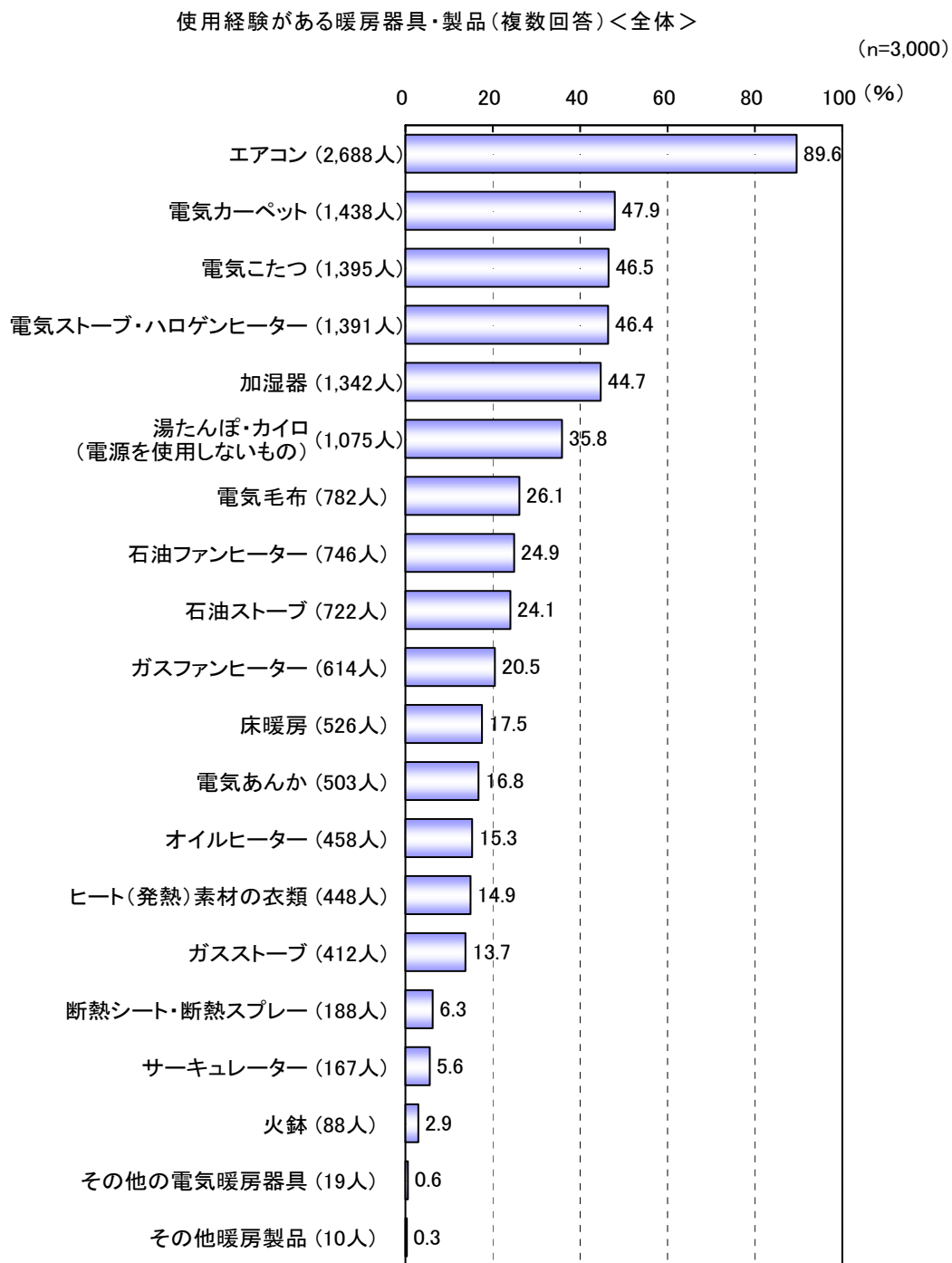


2 暖房器具・製品によるヒヤリ・ハット及び危害経験について

(1) 暖房器具・製品の使用経験

回答者：全員

家庭で使用したことがある暖房器具・製品を聞いたところ、「エアコン」が89.6%で最も多い。次いで「電気カーペット」、「電気こたつ」、「電気ストーブ・ハロゲンヒーター」、「加湿器」がそれぞれ4割半ば前後で続いており、上位5製品はすべて電気暖房器具であった。

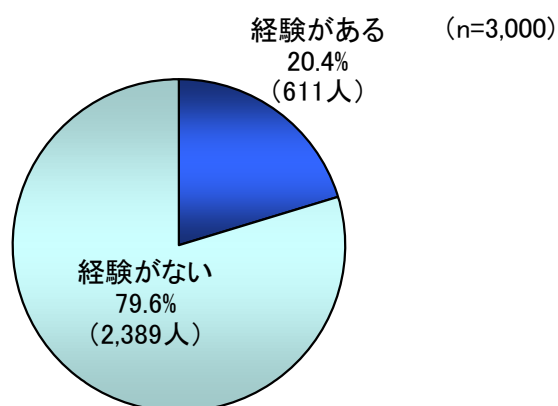


(2) 暖房器具・製品によるヒヤリ・ハット／危害経験の有無

回答者：全員

使用経験がある暖房器具・製品のうち、ケガをしそうになってヒヤリとしたり、ケガ又は引火・発火・発煙した経験があるものを聞いたところ、「経験はない」という回答が79.6%であった。1つでも「経験がある」人は全体の20.4%である。

暖房器具・製品によるヒヤリ・ハット／危害経験の有無(単一回答)〈全体〉



注：次項「(3)ヒヤリ・ハット／危害経験がある暖房器具・製品」の回答結果から算出

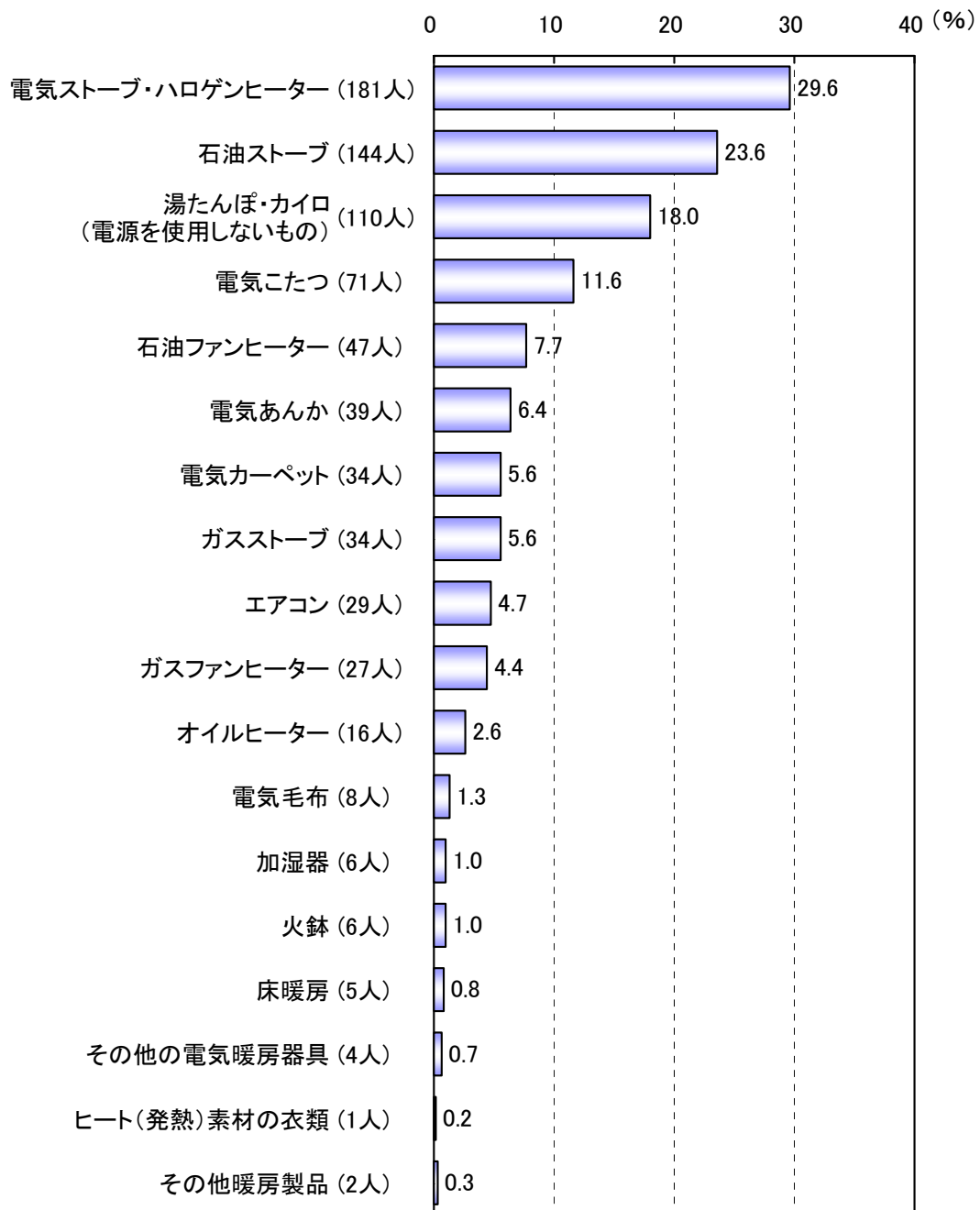
(3) ヒヤリ・ハット／危害経験がある暖房器具・製品

回答者：いずれかの暖房器具・製品でヒヤリ・ハット／危害経験があると回答した 611 人

ヒヤリ・ハットや危害経験があると回答のあった暖房器具・製品を、1つでも「経験がある」人数に対する割合で見ると、上位にあがったのは「電気ストーブ・ハロゲンヒーター」(29.6%)、「石油ストーブ」(23.6%)、「湯たんぽ・カイロ(電源を使用しないもの)」(18.0%)、「電気こたつ」(11.6%)、「石油ファンヒーター」(7.7%)である。

ヒヤリ・ハット／危害経験がある暖房器具・製品(複数回答、経験ありベース)〈全体〉

(n=611)



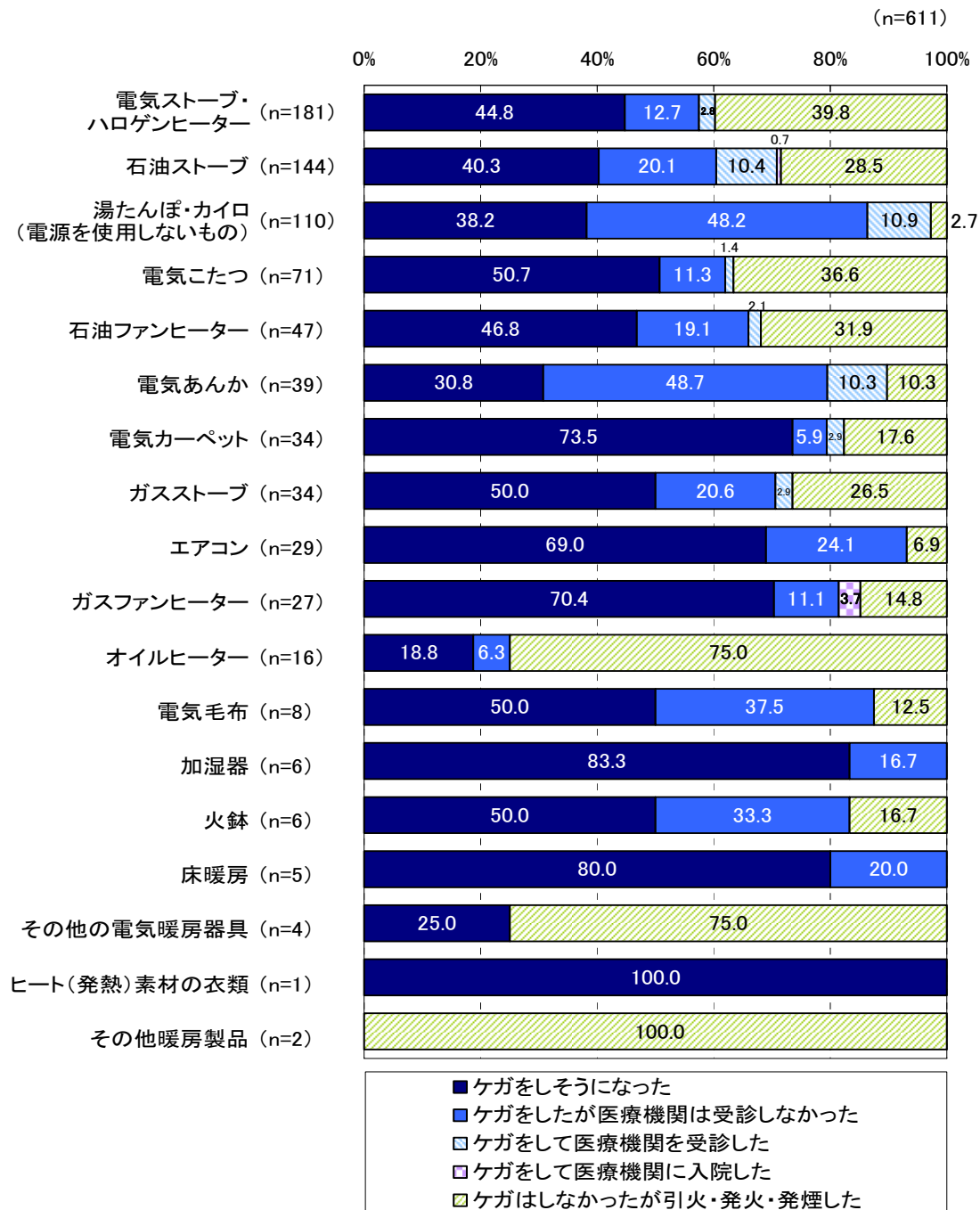
(4) 暖房器具・製品によるヒヤリ・ハット/危害経験の程度

回答者：それぞれの暖房器具・製品でヒヤリ・ハット/危害経験があると回答した人

暖房器具・製品によるヒヤリ・ハットや危害の程度を製品ごとに聞いた結果、回答者数の多い上位5製品についてみると、危害経験の割合(注)は、『湯たんぽ・カイロ(電源を使用しないもの)』、『石油ストーブ』がそれぞれ61.8%、59.7%と同程度で最も高く、次が『電気ストーブ・ハロゲンヒーター』の55.3%である。

(注：「ケガをしたが医療機関は受診しなかった」「ケガをして医療機関を受診した」「ケガをして医療機関に入院した」「ケガはしなかったが引火・発火・発煙した」の合計)

暖房器具・製品によるヒヤリ・ハット/危害経験の程度(単一回答)<全体>

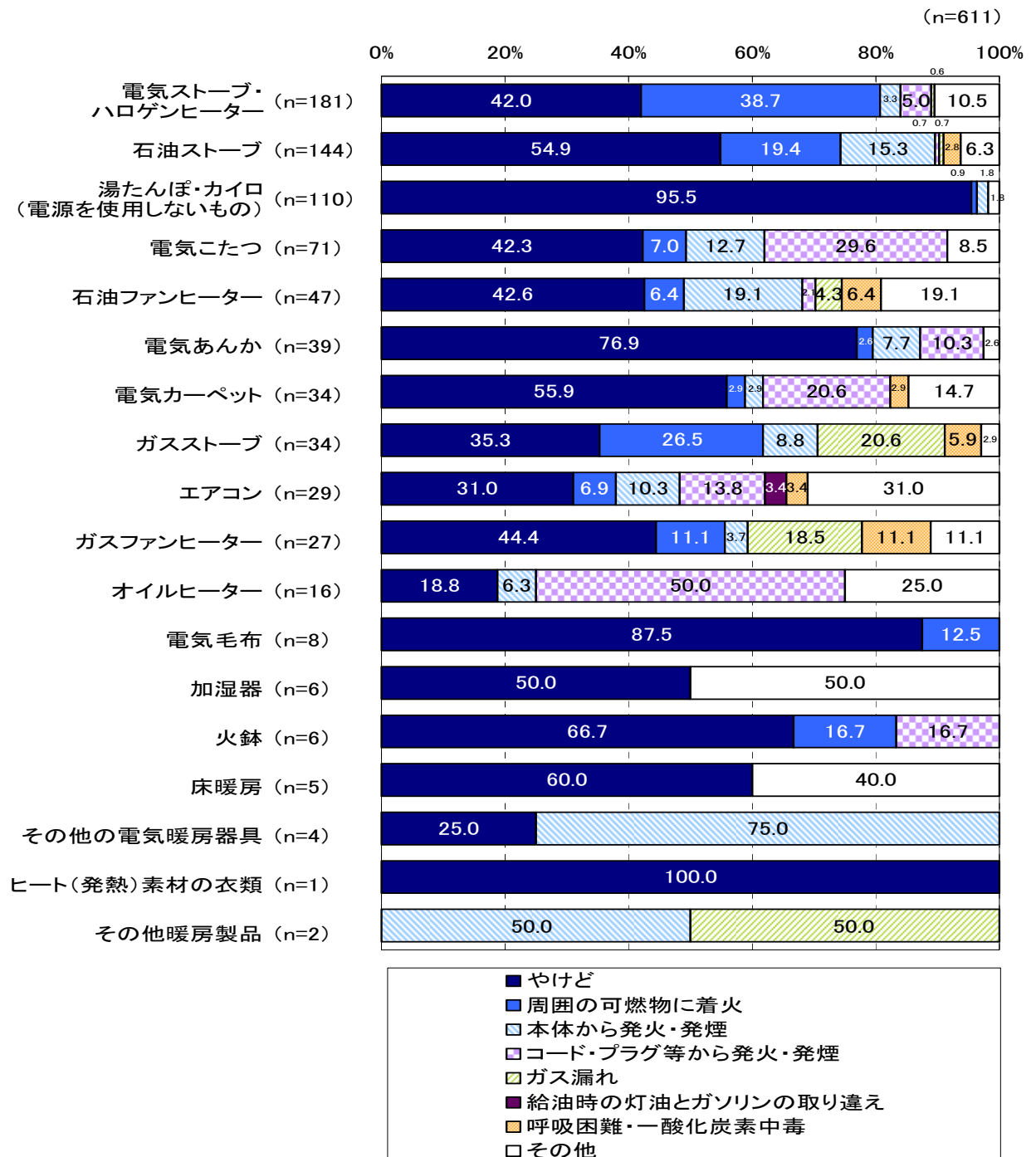


(5) 暖房器具・製品によるヒヤリ・ハット／危害経験の内容

(回答者：それぞれの暖房器具・製品でヒヤリ・ハット／危害経験があると回答した人)

暖房器具・製品によるヒヤリ・ハットや危害の内容を製品ごとに聞いた結果、回答者数の多い上位5製品についてみると、「やけど」は『湯たんぼ・カイロ(電源を使用しないもの)』が最も高く95.5%、「周囲の可燃物に着火」は『電気ストーブ・ハロゲンヒーター』が最も高く38.7%となっている。「コード・プラグ等から発火・発煙」の割合が高いのは『電気こたつ』で29.6%となっている。

暖房器具・製品によるヒヤリ・ハット／危害経験の内容(単一回答)＜全体＞



(6) 暖房器具・製品によるヒヤリ・ハット／危害経験時の状況

回答者：いずれかの暖房器具・製品でヒヤリ・ハット／危害経験があると回答した 611 人

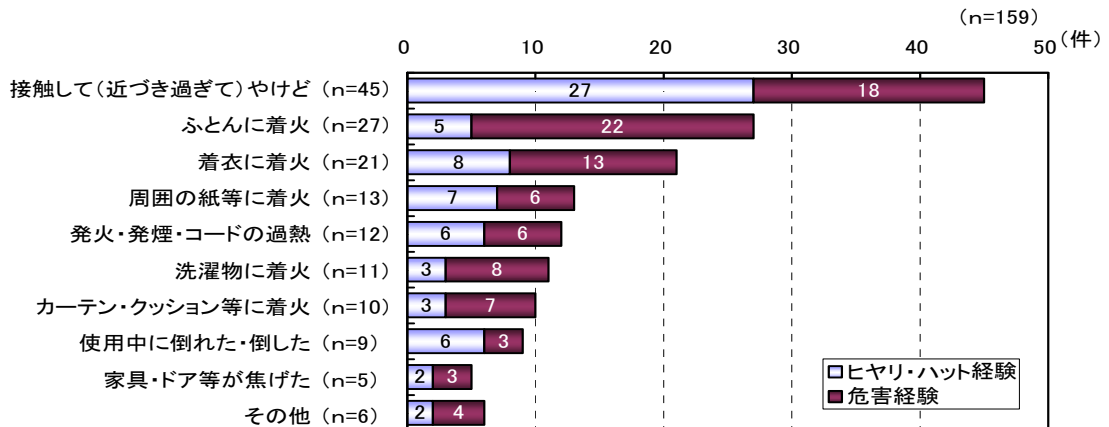
暖房器具・製品によるヒヤリ・ハットや危害を経験した製品のうち 1 つについて、その時の状況を自由記述式で聞いたところ、合計 601 件（ヒヤリ・ハット事例 264 件／危害事例 337 件）の有効回答を得た。（回答者数の多い上位 5 製品について記述内容を分類・集計した結果を記載）

【電気ストーブ・ハロゲンヒーター】

電気ストーブ・ハロゲンヒーターは合計 159 件（ヒヤリ・ハット事例 69 件／危害事例 90 件）の回答があり、「接触して（近づき過ぎて）やけど」に関する事例が 45 件、次いで「ふとんに着火」、「着衣に着火」が続いている。

また、周囲の物に着火したり焦げたりした例の合計は、87 件と全体の 5 割以上を占め、具体例としては、『電気ストーブを付けたまま寝てしまい、息苦しくて目が覚めたら布団が焦げていて部屋に煙が充満していた』などがある。

電気ストーブ・ハロゲンヒーターによるヒヤリ・ハット／危害経験時の状況（自由回答を分類）



注：件数は当該事象が「起きそうになった」「起きるおそれを感じた」等の事例を含む。

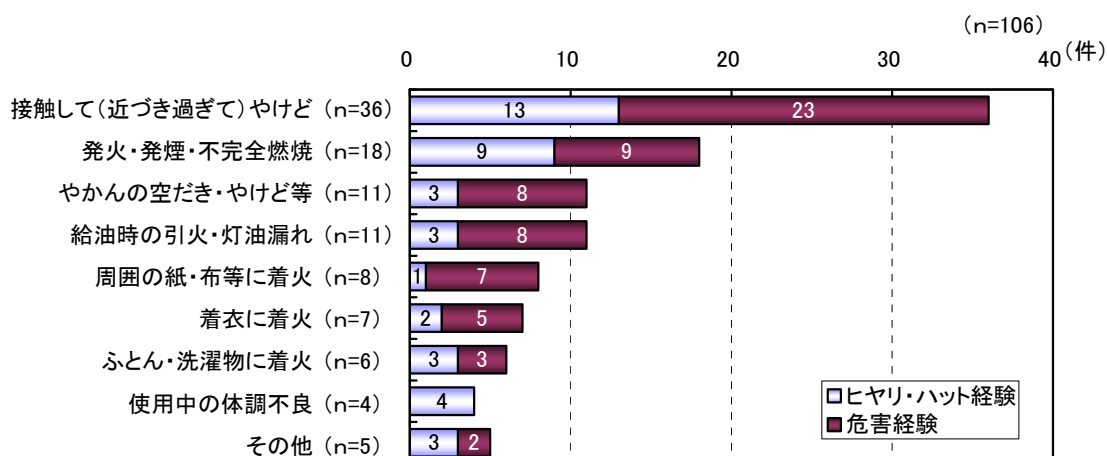
【主な事例】

項目	内容	性別・年齢
ふとんに着火	電気ストーブを消し忘れ寝てしまい布団に発火。	男性 50代
着衣に着火	電気ストーブにくっつきすぎて作業に熱中していたら、ニットのカーディガン表面がこげていた。	女性 60代
周囲の紙等に着火	飼い猫が焦げた。発火して周囲に火付けするのではないかと心配した。	男性 50代
発火・発煙・コードの過熱	電気ストーブの本体から出ているコードの接続部分が老朽してきていたのか、折れ曲がったままになってしまっていて、気づかなかったがそのまま使用し続けていたらしく、電源を入れたらその部分が火花を放ち、焦げ臭かった。	女性 40代
洗濯物に着火	電気ストーブに洗濯物が落下。気づいたときには発煙しており、慌てて洗濯物を回収したら焦げていた。洗濯物はナイロン製。	男性 20代
カーテン・クッション等に着火	電気ストーブの上にカーテンがかかり、気付かずにいたところ煙が出た。防災加工で良かった。以降、オイルヒーターにした。	男性 50代
使用中に倒れた・倒した	リビングにいたときに、隣部屋のダイニングの電気ストーブが倒れる音がした。5分後くらいに見に行ったら、倒れたときに電気ストーブの電源が入ってしまったようでストーブがついていてビニールの床が溶けて大きく膨らんでいた。床は熱くなっていた。もう少しで火事になるところだった。	女性 20代
その他	電気ファンヒーターを使用している室内（8畳）の少し離れた場所で、衣類に撥水スプレーをしていた。かなり念入りに吹き付けていたら、ヒーターが薬剤を吸い込んだらしく、急に黒煙を吐き出した。	女性 40代

【石油ストーブ】

石油ストーブは、合計 106 件（ヒヤリ・ハット事例 41 件 / 危害事例 65 件）の回答があった。「接触して（近づき過ぎて）やけど」に関する事例が 36 件で最も多く、次いで「発火・発煙・不完全燃焼」、「やかんの空だき・やけど等」、「給油時の引火・灯油漏れ」が続く。「給油時の引火・灯油漏れ」の具体例としては、『完全に消火していない状態で給油し、火柱が上がった』などの回答があった。

石油ストーブによるヒヤリ・ハット／危害経験時の状況（自由回答を分類）



注：件数は当該事象が「起きそうになった」「起きるおそれを感じた」等の事例を含む。

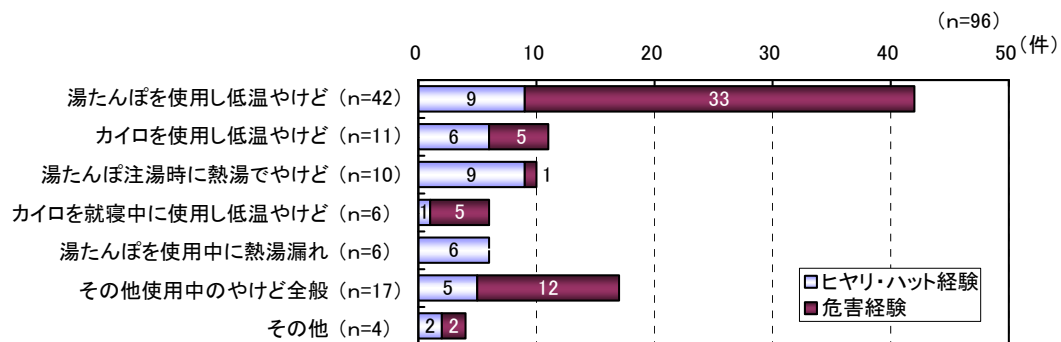
【主な事例】

項目	内容	性別・年齢
接触して（近づき過ぎて）やけど	真冬お風呂上り直後で、とても寒かったためストーブの近くで着替えをしていたところバランスを崩してストーブの高温部に触れてしまい軽いやけどを負った。	男性 20代
	石油ストーブでタバコに火をつけようとしてタバコをくわえたまま顔を近づけた時に、タバコを持つ手をやけどした。	男性 60代以上
発火・発煙・不完全燃焼	石油ストーブを2階でつけたまま階下で用事を済ませ、2階に戻ったら不完全燃焼のために部屋中がすすで真っ暗になっていて、危うく火事になるところだった。石油ストーブをやめてガスファンヒーターに替えた。	女性 60代以上
やかんの空だき・やけど等	ストーブの上においていたやかんのお湯をひっくり返してしまった。	女性 40代
給油時の引火・灯油漏れ	消火して白灯油を入れていたら急に火柱が上がった。完全に消されていないかららしい。	男性 60代以上
周囲の紙・布等に着火	石油ストーブの上に新聞紙が置いて有ったのに気がつかずに着火して新聞紙を焦がした。	男性 50代
	ストーブの上にかけたやかんに布巾をかけていたら、ストーブの上に落ちて少し燃えた。	女性 40代
その他	掃除機を使用中でしたが、ストーブの近くに来たら、いきなりストーブの下から火が噴出しすごく怖い思いをした経験があります。掃除機で炎を吸い取ったからといわれました。その後、掃除機をかけるときは必ずストーブは消します。	女性 60代以上

【湯たんぽ・カイロ（電源を使用しないもの）】

湯たんぽ・カイロ（電源を使用しないもの）は、合計 96 件（ヒヤリ・ハット事例 38 件 / 危害事例 58 件）の回答があった。「湯たんぽを使用し低温やけど」に関する事例が 42 件で最も多く、具体的には『湯たんぽをくるんでいたタオルが就寝中に外れたため足が直接触れてやけどをした』などの例が複数ある。次いで、「カイロを使用し低温やけど」、「湯たんぽ注湯時に熱湯でやけど」が多かった。

湯たんぽ・カイロ（電源を使用しないもの）によるヒヤリ・ハット／危害経験時の状況（自由回答を分類）



注: 件数は当該事象が「起きそうになった」「起きるおそれを感じた」等の事例を含む。

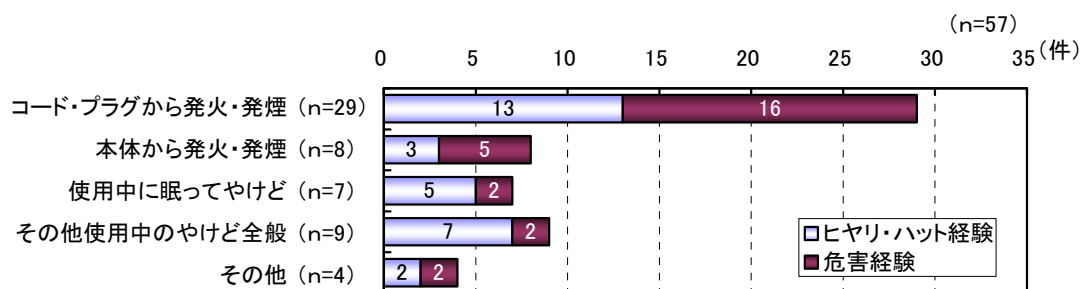
【主な事例】

項目	内容	性別・年齢
湯たんぽを使用し低温やけど	湯たんぽをタオルでくるんで足元に置いたんですが、寝ている間にタオルの巻き方がゆるかったようで湯たんぽが裸になってしまい低温火傷をしてしまった。	男性 60代以上
	普段はぬるめの湯 50 ~ 60 度を使うが、沸騰した湯を入れてしまった。太ももの近くに置いて寝たが、翌朝当たっていた部分が赤くなっていた。	女性 50代
カイロを使用し低温やけど	両足の腿にカイロを貼って一日(約12時間)過ごしたところ、低温やけどをし、水ぶくれとなった。いつもは低価格で最高温度が低いカイロを使っていたが、たまたま最高温度が5度~10度ほど高いカイロを貼ったところやけどをした。	女性 40代
湯たんぽ注湯時に熱湯でやけど	直火にかけてお湯を温められるタイプの湯たんぽを使っていたが、火にかけていたことを忘れて他の家事をしてしまい、沸騰しているお湯が注ぎ口から飛び出しており、火を消す際にやけどをしてしまった。	女性 30代
その他	エコカイロをお湯に入れて火にかけたまま忘れてしまい、鍋底に張り付いて破裂してしまっていた。	女性 20代

【電気こたつ】

電気こたつは、合計 57 件（ヒヤリ・ハット事例 30 件 / 危害事例 27 件）の回答があった。「コード・プラグから発火・発煙」に関する事例が 29 件で最も多く、全体の半数を占めた。次いで、「本体から発火・発煙」が 8 件、「使用中に眠ってやけど」が 7 件などとなっている。「その他使用中のやけど全般」の具体例は、『コタツの内部に付いている金属製の金具に触れて、やけどしそうになった』などがある。

電気こたつによるヒヤリ・ハット／危害経験時の状況（自由回答を分類）



注：件数は当該事象が「起きそうになった」「起きるおそれを感じた」等の事例を含む。

【主な事例】

項目	内容	性別・年齢
コード・プラグから発火・発煙	電気こたつを使用していたところ、コンセント部分で火花が散り、近くにあったソファに着火した。	女性 20代
	こたつで寝っ転がって本を読んでいたが、足がピリッとして中を見たら、コードについているスイッチの部分から発火していた。小さな炎がマットで燃えていて、驚いた。	女性 30代
その他	座布団に下に、炬燵の温度調節器とライターが重なっていたのを知らずに、その座布団に座っていたときに座布団の下でライターが爆発、ものすごい爆発音でライターが粉々になった。座布団がなかったら...と、冷や汗ものだった。	女性 60代以上
	ソケットがきちんと差し込んでなくてその間に携帯のストラップが当たり火花が散りストラップが焼切れた。そのとき焼切れたストラップを触り火傷をした。	女性 60代以上

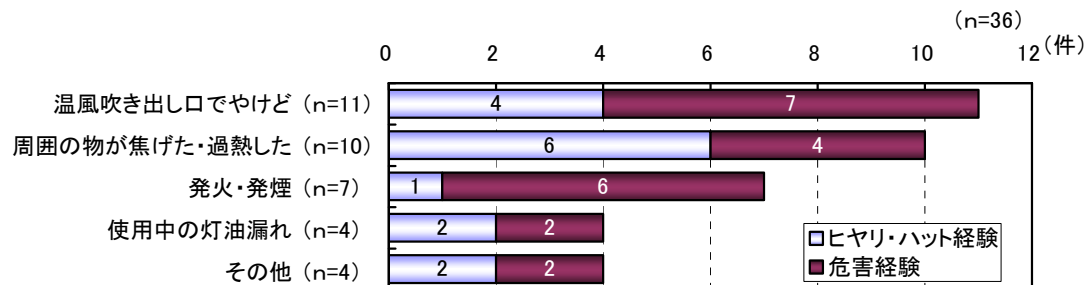
【石油ファンヒーター】

石油ファンヒーターは、合計 36 件（ヒヤリ・ハット事例 15 件 / 危害事例 21 件）の回答があった。最も多かったのは「温風吹き出し口でやけど」で 11 件、次いで「周囲の物が焦げた・過熱した」が 10 件、「発火・発煙」が 7 件となっている。

石油ファンヒーターでケガをした事例は、『使用中に温風吹き出し口のコロを掃除していて、素手で触れてやけどした』などがあり、ちょっとした油断がケガにつながっている。

また、「周囲の物が焦げた・過熱した」事例は、『近くに置いていたぬいぐるみが溶けた』、『ゴムのおもちゃが破裂した』などがあり、温風吹き出し口付近は高温になるため注意が必要である。

石油ファンヒーターによるヒヤリ・ハット／危害経験時の状況（自由回答を分類）



注：件数は当該事象が「起きそうになった」「起きるおそれを感じた」等の事例を含む。

【主な事例】

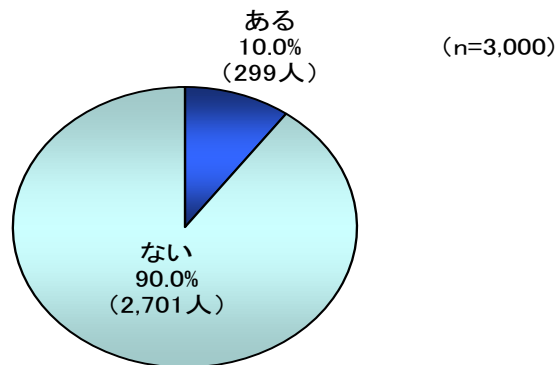
項目	内容	性別・年齢
温風吹き出し口でやけど	温風吹き出し口のコロを稼働中に掃除していて、素手でさわってしまいやけどしてしまった	男性 20代
周囲の物が焦げた・過熱した	子供がゴムのおもちゃをファンヒーターの前に放置し破裂させた。	男性 30代
発火・発煙	温風口から白い煙が出た。煙は不快な匂いがし、目にしみて喉にも良く無さそうだったため、すぐに本体の電源を切り換気をした。 1ヶ月に1度くらいな同様なことが起こるので、買い替えも検討している。	男性 20代
その他	猫がファンヒーターのスイッチを踏んだので、勝手にスイッチが入ってしまった。	女性 50代
	バランスボールが、セキユファンヒーターの近くにずっとあり、そのうち大きな音をたてて、われた。	女性 40代

(3) 食品による窒息のヒヤリ・ハット及び危害経験について

(1) 食品による窒息のヒヤリ・ハット／危害経験の有無(回答者：全員)

家族や親戚も含めて、これまでに食品が詰まってヒヤリとしたり、窒息した経験があるかを聞いたところ、「ある」と回答した人は10.0%であった。全体の1割の人が、何らかの食品による窒息のヒヤリ・ハット経験や危害経験(家族等の経験含む。)をもっていた。

食品による窒息のヒヤリ・ハット／危害経験の有無(単一回答)<全体>

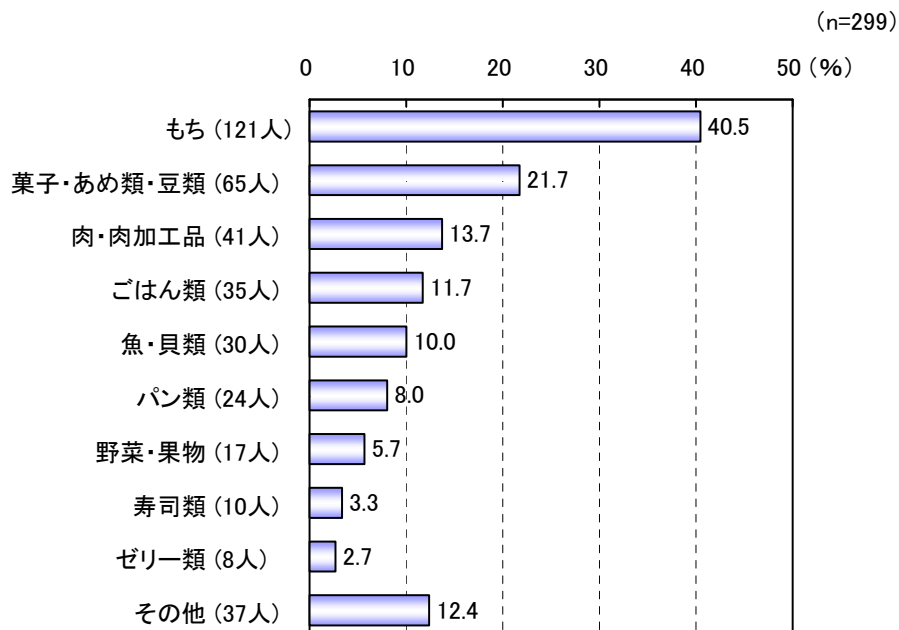


(2) 食品による窒息のヒヤリ・ハット／危害経験がある食品

(回答者：食品による窒息のヒヤリ・ハット／危害経験が「ある」と回答した299人)

家族や親戚も含めて、のどに詰まらせた経験がある食品の種類を聞いたところ、「もち」が最も多く40.5%である。次いで、「菓子・あめ類・豆類」が21.7%、「肉・肉加工品」が13.7%、「ごはん類」が11.7%、「魚・貝類」が10.0%で続く。「その他」の食品としては、うどん・そば・パスタなど「麺類」をあげた人が多かった。

食品による窒息のヒヤリ・ハット／危害経験がある食品(複数回答)<全体>



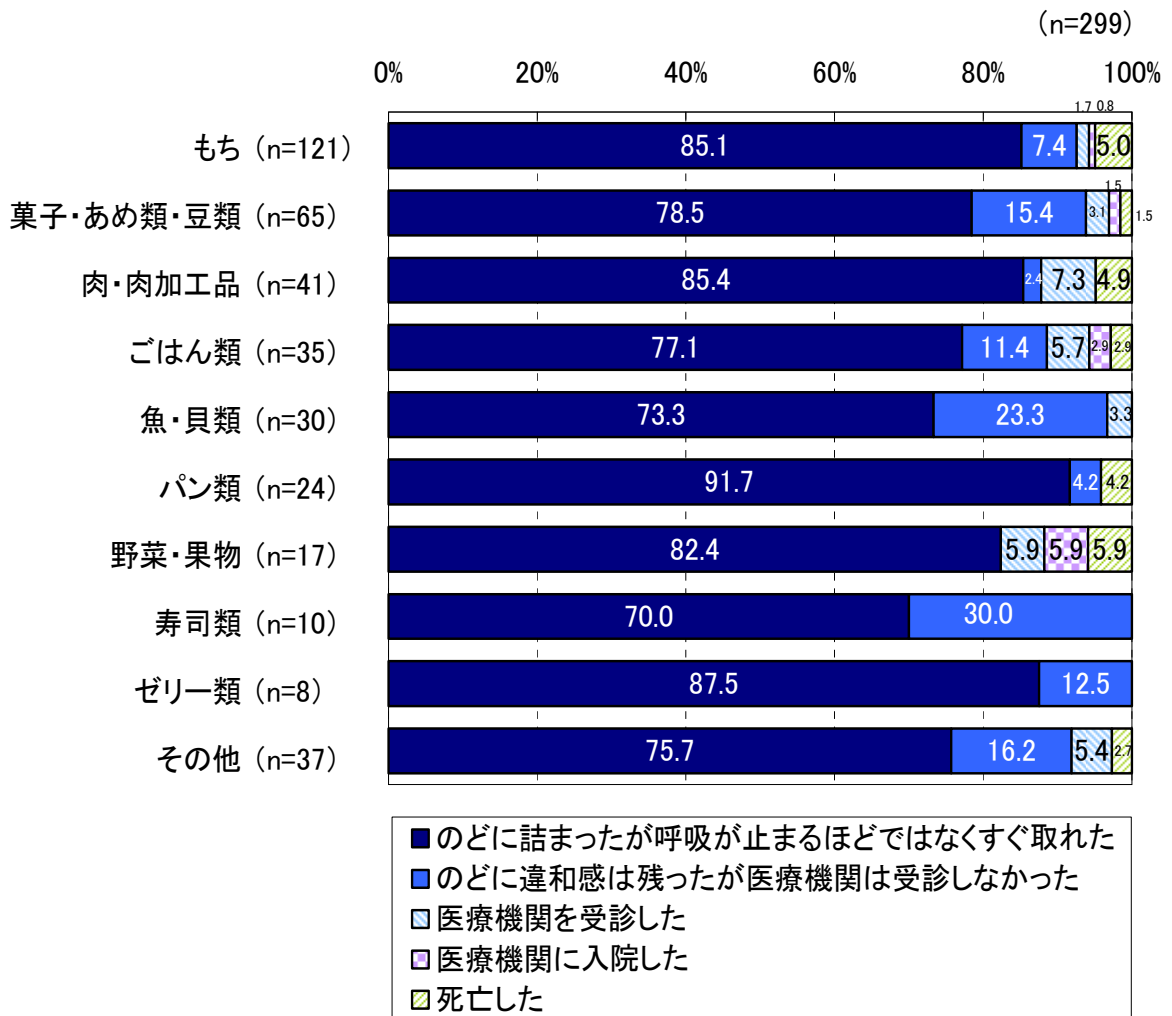
(3) 食品による窒息のヒヤリ・ハット/危害経験の程度

(回答者：食品による窒息のヒヤリ・ハット/危害経験が「ある」と回答した299人)

食品による窒息のヒヤリ・ハットや危害の程度を食品の種類ごとに聞いた結果、回答者数の多い上位5項目についてみると、危害経験の割合^(注)は、『魚・貝類』が26.6%で最も高く、次が『ごはん類』で22.9%である。「死亡した」は、『もち』が5.0%(6人)と上位5項目の中では最も高かった。

注：「のどに違和感が残ったが医療機関は受診しなかった」「医療機関を受診した」「医療機関に入院した」「死亡した」4項目の合計

食品による窒息のヒヤリ・ハット/危害経験の程度(単一回答)<全体>

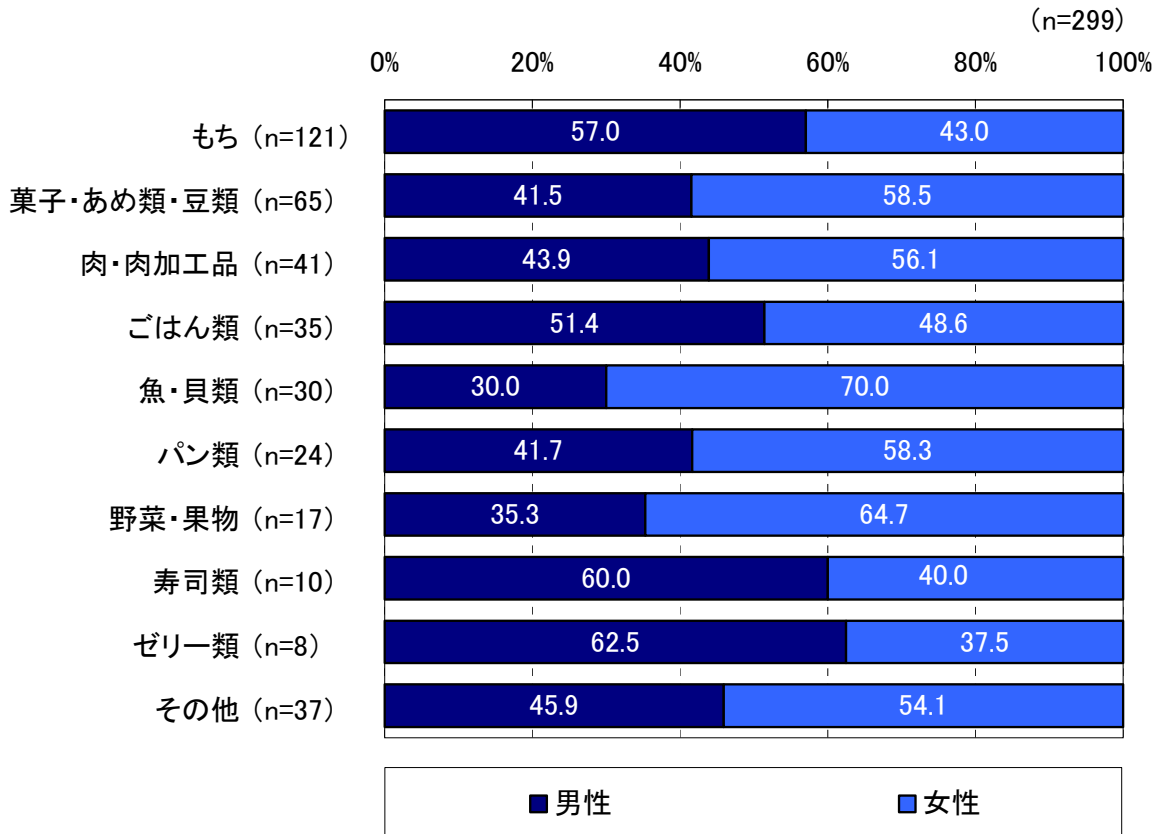


(4) 食品による窒息のヒヤリ・ハット/危害経験者の性別

(回答者：食品による窒息のヒヤリ・ハット/危害経験が「ある」と回答した299人)

回答者数の多い上位5項目について、ヒヤリ・ハットや危害を経験した人の性別をみると、「もち」は『男性』の割合が5割を超えており、「魚・貝類」では『女性』が7割となっている。

食品による窒息のヒヤリ・ハット/危害経験者の性別(単一回答)<全体>

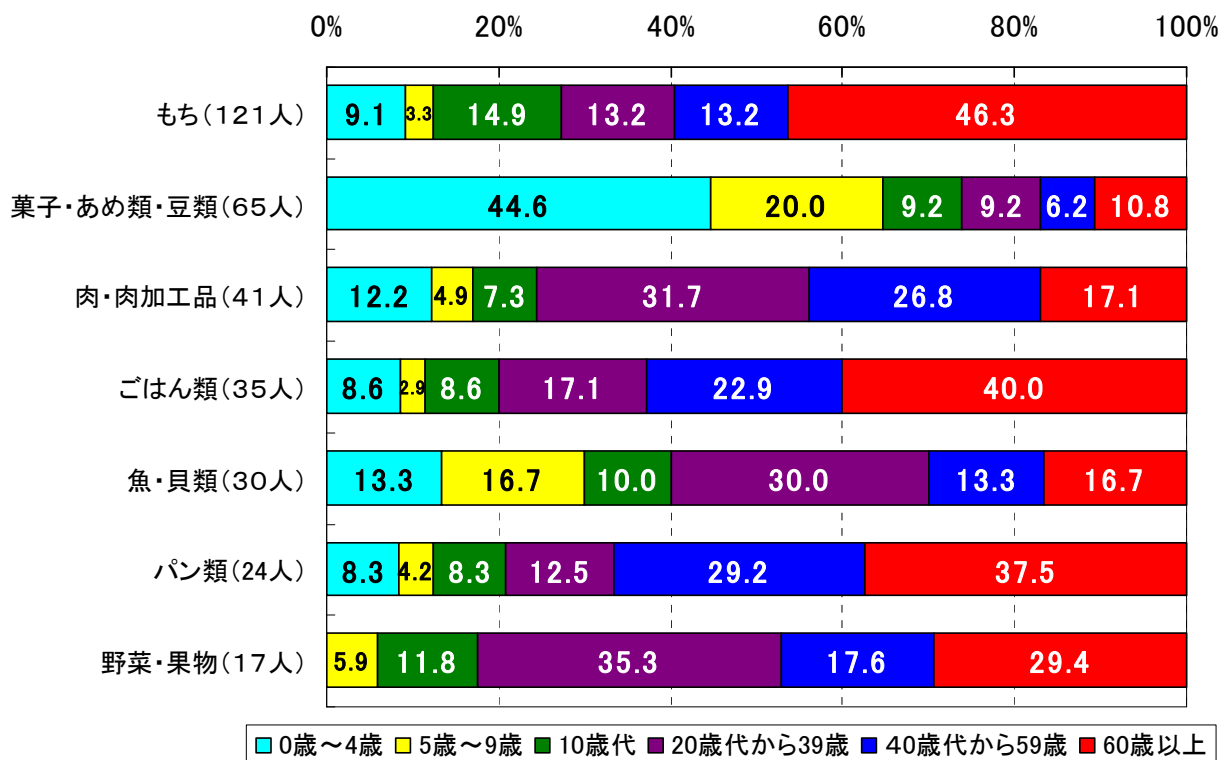


(5) 食品による窒息のヒヤリ・ハット/危害経験者の年齢

(回答者：食品による窒息のヒヤリ・ハット/危害経験が「ある」と回答した299人)

回答者数の多い上位5項目について、ヒヤリ・ハットや危害を経験した人の年齢をみると、「もち」では、5割近くが60歳以上の高齢者であった。「菓子・あめ類・豆類」では『0歳～4歳』が44.6%と最も高く、『5歳～9歳』の20.0%を合わせると、全体の6割半ばは10歳未満の子どもであった。「肉・肉加工品」、「ごはん類」、「魚・貝類」では幅広い年齢層が経験している。

食品による窒息のヒヤリ・ハット/危害経験者の年齢(単一回答)<全体>



(6) 食品による窒息のヒヤリ・ハット/危害経験時の状況

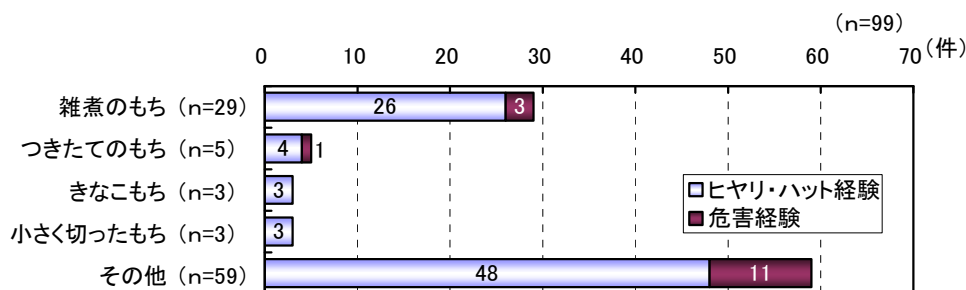
(回答者：食品による窒息のヒヤリ・ハット/危害経験が「ある」と回答した299人)

窒息のヒヤリ・ハットや危害を経験した食品のうち1つについて、その時の状況を自由記述式で聞いたところ、合計293件(ヒヤリ・ハット事例231件/危害事例62件)の有効回答を得た。以下は、このうち回答者数の多い上位3項目について記述内容を分類・集計した結果である。

【もち】

もちについては合計99件(ヒヤリ・ハット事例84件/危害事例15件)の回答があった。最も多いのは「雑煮のもち」をのどに詰ませた事例で29件あった。具体例としては、『大きな塊をほおばったとたん、嘔まないうちにスルスルとのどに入ってしまった』などがあつた。

もちによる窒息のヒヤリ・ハット/危害経験時の状況(自由回答を分類)



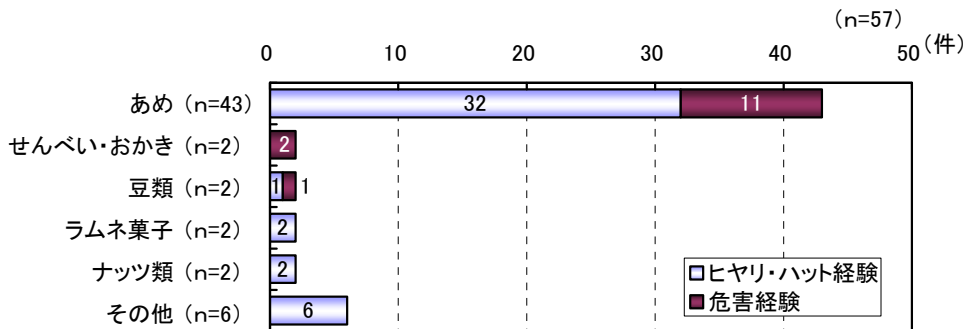
【主な事例】

項目	内容	経験者性別	経験時年齢
雑煮のもち	祖母がお雑煮のもちでのどを詰ませたが、落ち着かせてお茶をゆっくり飲むことで解消した。	男性	70歳代
	お正月の朝、お雑煮を食べていた私自身、柔らかなお餅だったので、大きな塊をおもいきり口の中に頬張ったとたん、嘔まないうちに、スルスルとのど越しに入ってしまった、慌てて急いで自分の手でお餅を引っ張り出しました。のどに詰ませ、呼吸困難の苦しみとは、こんな状況なのだと思身を持って経験しました。家族の皆からも、散々忠告あり、これからは小さく切ったお餅を、口に運ぶようにしたいと思います。	男性	60歳代
	正月に母親と食事をしていたとき、雑煮のもちがのどに詰まり、むせ、せきがしばらく止まらなかった。	女性	70歳代
きなこもち	昼食時、きなこもちを一口で食べた父親が詰ませ、呼吸ができずに赤い顔で苦しんだ。妻が背中を強くたたいて難を逃れた。	男性	70歳代
小さく切ったもち	もうすぐ3歳の子が正月、もち(小さく切ってたけど溶けて繋がってしまった)を食べて喉につまらせた。もがいたけど、すぐに吐いたので大丈夫だった。	男性	0歳~4歳

【菓子・あめ類・豆類】

菓子・あめ類・豆類は、合計 57 件（ヒヤリ・ハット事例 43 件 / 危害事例 14 件）の回答があった。このうち 7 割以上は「あめ」をのどに詰ませた事例で、43 件あった。この他、せんべい・おかき、ラムネ菓子、豆類、ナッツ類、氷菓、あん入り菓子がのどに詰まったり、気管に入ってしまった事例がある。

菓子・あめ類・豆類による窒息のヒヤリ・ハット／危害経験時の状況（自由回答を分類）



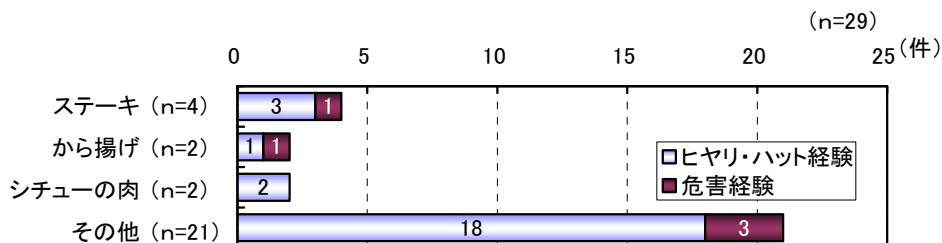
【主な事例】

項目	内容	経験者性別	経験時年齢
あめ	寝る前に飴をなめていたら、床に入った時に喉に詰まってしまった。何度か咳をしたら飛び出してくれたので、何事もなく済んだ。	男性	70歳代
	子供が飴をたべて走っていてころんでその反動で飴を飲んでしまった。幸い小さくなっていたので詰まるほどではなかったけど、ちょっとのどが痛くなったようだ。	男性	0歳～4歳
	母が近所からおみやげでいただいたあめを「少し大きいね。」といいながら口に入れた瞬間、「ひっ」と声がした。顔をゆがめていたので、すぐのどに詰まらせたことがわかり、背中をドンドンと2回思いっきりたたいて事なきをえた。口に入れる時にふっと吸い込んだようにしたことが原因だったと思う。	女性	70歳代
その他	自宅で氷菓を食べている時に、誤って大きな塊のまま飲み込んでしまい、喉につかえて取れなくなった。その間は息ができずにとても苦しく意識も朦朧としたが、母親がいたので、熱いお湯を飲ませてくれるなどして、なんとか喉のつかえがとれた。	男性	10歳代
	最近あんこの入ったものを食べている時何度か喉に詰まって苦しくなった。	女性	50歳代

【肉・肉加工品】

肉・肉加工品は、合計 29 件(ヒヤリ・ハット事例 24 件 / 危害事例 5 件)の回答があった。「ステーキ」、「から揚げ」、「シチューの肉」など固まりの肉でのどに詰ませた事例があった。「その他」の事例には、すじ肉、焼き肉、ヒレかつなどによる経験が含まれている。肉類全体として、『噛みきれずに大きなかたまりのまま飲み込み、のどに詰まった』というケースが多い。

肉・肉加工品による窒息のヒヤリ・ハット／危害経験時の状況(自由回答を分類)



【主な事例】

項目	内容	経験者性別	経験時年齢
肉	お肉が噛み切れずそのまま大きいまま飲み込んでしまい、詰まってしまった。	男性	80歳代
から揚げ	外食中、お子様セットを食べていた息子が突然食べるのをやめたので、気持ちが悪いかと思ったが、少したって「苦しい」と言ったので背中を何度もたたいてようやくから揚げの塊が出てきた。	男性	0歳～4歳

【ご飯類等その他の食品】

項目	内容	経験者性別	経験時年齢
ごはん	たくさん口に放り込んで飲み込めず呼吸が出来なくなってパニックに陥った。	男性	80歳代
パン	昼食のパンを食べていたところ、喉につまらせ、呼吸停止となり死亡した。	男性	80歳代
サザエ	母がサザエのつぼ焼きを喉に詰ませた。	女性	60歳代
みかん	みかんを急いで口に入れてしまい、窒息し死亡した。	女性	80歳代
こんにゃくゼリー	こんにゃくゼリーをかまずに飲みこみ、喉につまらせた。	男性	20歳代

(7) 普段、のどに詰まりそうで危険だと感じる食品の有無

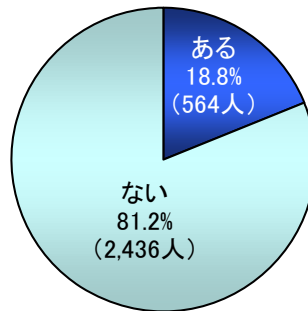
(回答者：全員)

普段食べている食品で、家族も含めて、のどに詰まりそうで危険だと感じる食品の有無について聞いたところ、「ある」という回答は18.8%であった。

危険性があると感じる食品を記述式で聞いたところ、「もち」が圧倒的に多く、「こんにゃくゼリー」、「飴」、「いか」、「こんにゃく」、「パン類」などが上位となった。ヒヤリ・ハットや危害経験についての調査結果とほぼ同様の傾向がみられるが、「薬」、「サプリメント」など食品以外のものもあげられた。

普段、のどに詰まりそうで危険だと感じる食品の有無(単一回答)〈全体〉

(n=3,000)



のどに詰まりそうで危険だと感じる食品名(上位抜粋)

Q41.「食品名」の回答	件数
もち	257
こんにゃくゼリー	28
飴	24
いか	15
こんにゃく	11
パン類	10
魚の小骨	9
肉類	9
焼き芋	9
のり	8
ゼリー	6
芋	6

麺類	5
ご飯	4
薬	4
魚	3
サプリメント	3
乾燥しているもの	3
えのき	3
きなこ	3
ゆで卵	3
グミ	2
団子	2
豆	2
固い食べ物	2

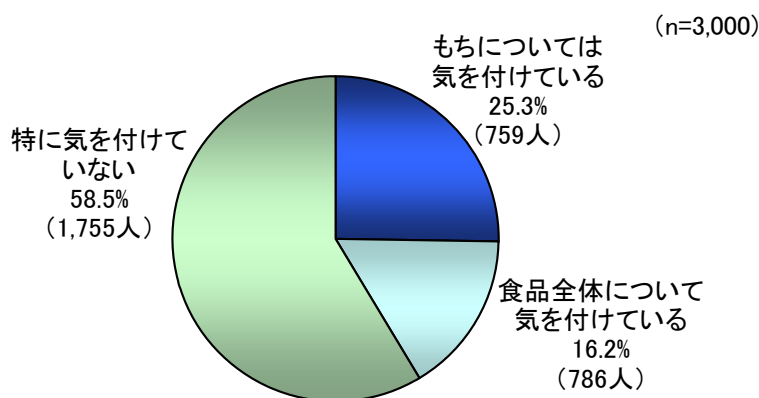
(8) 食品による窒息事故に対する注意意識

(回答者：全員)

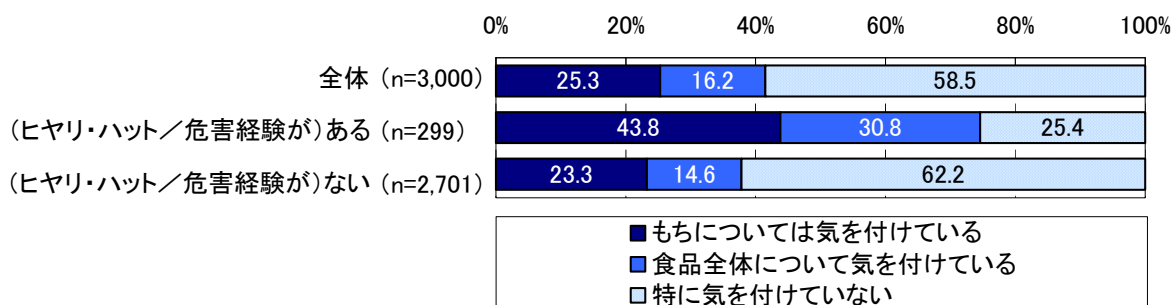
普段食品を食べるときに、家族も含めて、意識して窒息等に気を付けているかを聞いたところ、回答者全体では、「特に気を付けていない」が58.5%であった。「もちについては気を付けている」は25.3%で、4分の1の人はもちに対して注意意識をもっている。「食品全体について気を付けている」と答えた人は16.2%であった。

また、食品による窒息のヒヤリ・ハットや危害経験の有無別にみると、「もちについては気を付けている」、「食品全体について気を付けている」の合計割合は、経験が『ある』と回答した人では7割を超えているのに対し、『ない』人では4割弱と大きな差異がみられ、過去の経験を生かしていることがわかる。

食品による窒息事故に対する注意意識(単一回答)＜全体＞



食品による窒息事故に対する注意意識＜食品による窒息のヒヤリ・ハット／危害経験の有無別＞

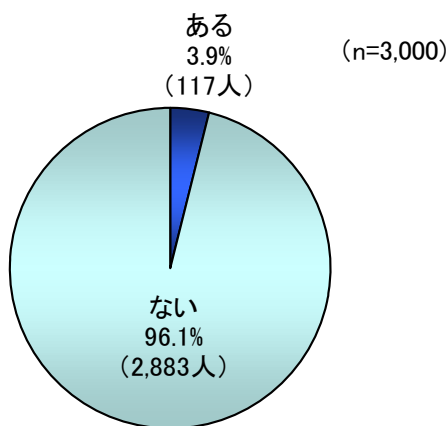


4 クリスマスに多いヒヤリ・ハット及び危害経験について

(1) クリスマス関連の製品によるヒヤリ・ハット／危害経験の有無(回答者：全員)

クリスマス関連の製品で、家族も含めて、ケガをしそうになってヒヤリとしたり、ケガ又は引火・発火・発煙した経験があるかを聞いたところ、「ある」と回答した人は3.9%であった。

クリスマス関連の製品によるヒヤリ・ハット／危害経験の有無(単一回答)＜全体＞



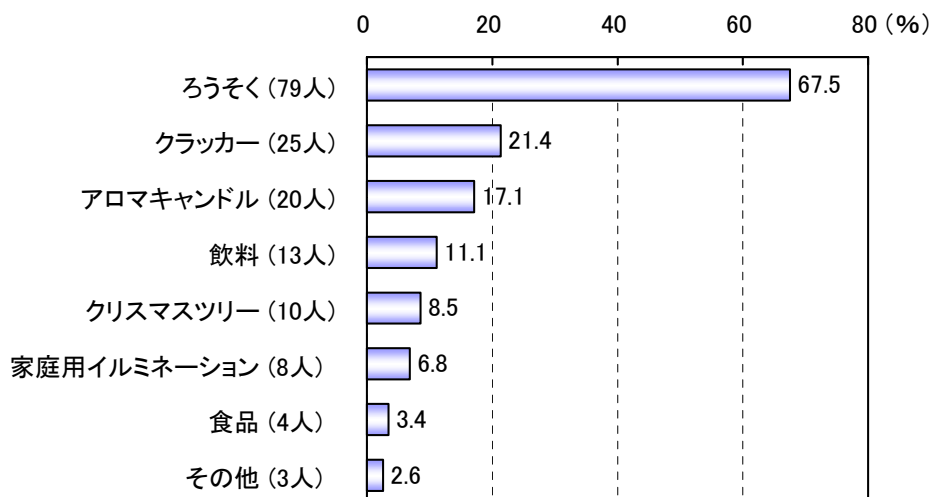
(2) ヒヤリ・ハット／危害経験があるクリスマス関連の製品

回答者：クリスマス関連の製品によるヒヤリ・ハット／危害経験が「ある」と回答した117人

ケガをしそうになってヒヤリとしたり、ケガ又は発火・発煙・引火した経験があるクリスマス関連の製品を聞いたところ、「ろうそく」が最も多く67.5%であった。次いで、「クラッカー」が21.4%、「アロマキャンドル」が17.1%で続く。

ヒヤリ・ハット／危害経験があるクリスマス関連の製品(複数回答)＜全体＞

(n=117)



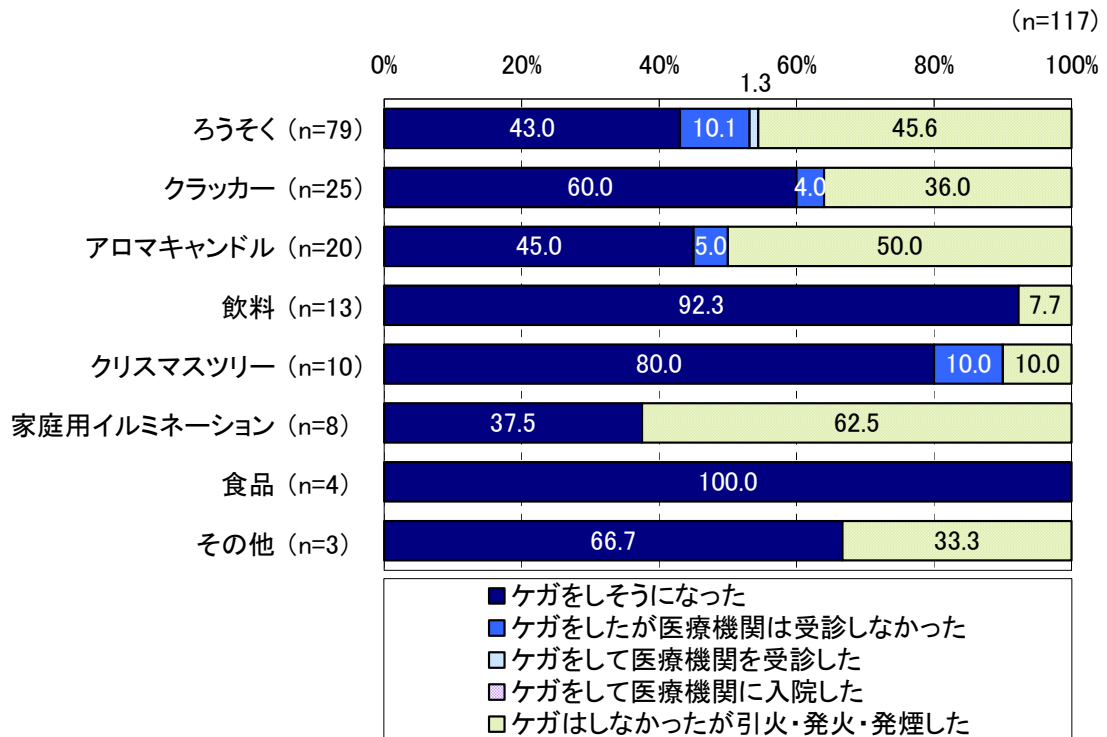
(3) クリスマス関連の製品によるヒヤリ・ハット／危害経験の程度

(回答者：クリスマス関連の製品によるヒヤリ・ハット／危害経験が「ある」と回答した117人)

クリスマス関連の製品によるヒヤリ・ハットや危害の程度を製品ごとに聞いた。回答者数が最も多い『ろうそく』についてみると、「ケガはしなかったが引火・発火・発煙した」が45.6%で、危害経験^(注)の大部分を占めている。

注：「ケガをしたが医療機関は受診しなかった」「ケガをして医療機関を受診した」「ケガをして医療機関に入院した」「ケガはしなかったが引火・発火・発煙した」の合計

クリスマス関連の製品によるヒヤリ・ハット／危害経験の程度(単一回答)＜全体＞



(4) クリスマス関連の製品によるヒヤリ・ハット／危害経験時の状況

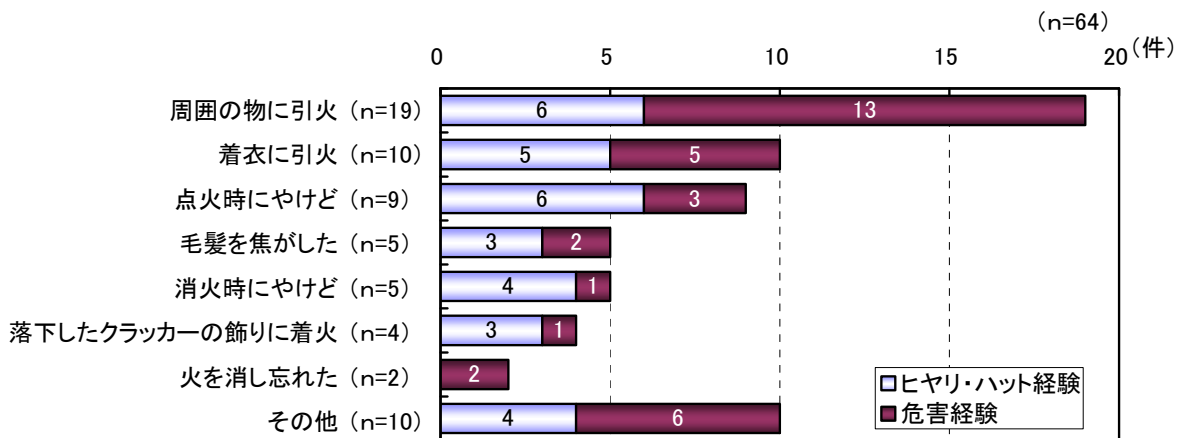
(回答者：クリスマス関連の製品によるヒヤリ・ハット／危害経験が「ある」と回答した117人)

クリスマス関連の製品によるヒヤリ・ハットや危害を経験した製品のうち1つについて、その時の状況を自由記述式で聞いたところ、合計115件(ヒヤリ・ハット事例60件／危害事例55件)の有効回答を得た。

このうち回答者数が最も多かった製品は「ろうそく」で、合計64件(ヒヤリ・ハット事例31件／危害事例33件)の回答があった。「周囲の物に引火」に関する事例が19件で最も多く、次いで「着衣に引火」、「点火時にやけど」などが多かった。「周囲の物に引火」については、ろうそくが倒れてテーブルクロス、カーテン、カーペットなどに燃え移ったり焦げたりした例があった。

ろうそく以外のクリスマス関連の製品については回答者数が少なかったが、「クラッカー」では『暴発して持っていた手をやけどした』、『散乱した紙テープがろうそくの上に落ちて燃えた』など、「飲料」では『シャンパンの栓を抜いたら、ふたが天井に飛んで照明器具に当たりガラスが落下した』など、「クリスマスツリー」では『電球の一部から煙が上がった』などの事例があった。

ろうそくによるヒヤリ・ハット／危害経験時の状況(自由回答を分類)



注: 件数は当該事象が「起きそうになった」「起きるおそれを感じた」等の事例を含む。

ろうそくによるヒヤリ・ハット／危害経験 主な事例

項目	内容	性別・年齢
周囲の物に引火	部屋の明かりを消し、ろうそくだけを数本立てて明かり代わりに使用していたのだが、そのうちの1本を猫が倒しカーペットが焦げた。	男性 30代
	大人数の食卓にろうそくを置いていたら、誰かがひっくり返して、一瞬テーブルクロスに引火したがすぐ水をかけて消火した。	女性 30代
着衣に引火	クリスマスケーキのろうそくの火が着ていたフリースにつき、穴があいた。一瞬着ていたものに火がつきあっという間に大きな穴があきびっくりした。	女性 50代
点火時にやけど	誕生日と重ねてだったので、年齢分のろうそく（25本程度）をたてて火をつけたところ、何本かのろうそくが近すぎて、1つの大きな火になってヒヤリとした。	男性 30代
毛髪を焦がした	ろうそくに火がついている前で居眠りして前髪がこげた	男性 40代
消火時にやけど	子供が火を消すときに火に近づきすぎ、口を軽く火傷した。	男性 40代
落下したクラッカーの飾りに着火	クラッカーを使用したところ、散乱した紙テープが、ろうそくに乗り、燃えた。	男性 30代
その他	ロウがケーキに落ちて、食べてしまった。	男性 30代
	消えていると思って捨てたら、ごみが燃えた	女性 60代以上
	クリスマスで友人を招いてキャンドルの灯りで食事をしていたら、酸欠で気分が悪くなった。換気をしたら治った。	女性 60代以上

ろうそく以外のクリスマス関連の製品によるヒヤリ・ハット／危害経験 主な事例

項目	内容	性別・年齢
家庭用イルミネーション	3～4年使用の古いイルミネーションのコードがショートして発火しそうになった。	男性 60代以上
	古いイルミネーションだったせいか、通電したとたんパンと音がしてガラスの飾りがこわれた。	女性 60代以上
クリスマスツリー	家の中で楽しむくらいの大サイズのクリスマスツリーに電球を巻き付け飾っていたところ、セッティングの問題かもしれないが、電球の一部から煙が上がってしまった。	男性 40代
	ツリーのライトの一つを息子（三歳）がかじってしまった。	女性 20代
アロマキャンドル	アロマキャンドルに火をつけ、ガラス製のキャンドル受けの上のせて置いたが気がついたら床がこげていた。	女性 60代以上
クラッカー	子供が自分の顔に向けて紐を引っ張ろうとしていた。	男性 30代
	クラッカーを鳴らしたら、持っている手で暴発が起き、やけどした。	女性 40代
飲料	シャンパンのふたが天井に飛んで照明器具が壊れ、ガラスが頭上から降り注ぎました。ケーキの上にもガラス片がまぶされて、食べられませんでした。	男性 40代
	子供が大人用のシャンパンを飲んでしまい（口に含んで吐き出した）。ビックリした。子供用の炭酸ジュースと瓶と中身の色が一緒で子供が間違えて飲んでしまった。	女性 30代